

所員研究活動（二〇二三年四月～二〇二四年三月）

山口英男 古代史料部門 教授

【研究活動】

〔研究テーマ〕正倉院文書の書類学／日本古代の社会と地方行政機構／牧と駒牽をめぐる諸問題

〔小論〕信濃の牧・馬・駒牽に関する新たな史料と分析（『新発見史料・新解釈』による古代・中世前期の信濃―『信濃史料』古代編（二・三巻）に係る未収史料の収集に関する基礎的研究』の成果―、東京大学史料編纂所研究成果報告二〇二三―五、三月）

〔共同執筆〕静嘉堂所蔵古写経群の研究資源化プロジェクト編『静嘉堂所蔵古写経群の調査と研究』（東京大学史料編纂所研究成果報告二〇二三―三・公益財団法人静嘉堂調査報告書、三月）

〔研究発表〕古代荘園図のランドマーク記載―額田寺伽藍並条里図の事例を参考に―（国立歴史民俗博物館共同研究（下記参照）研究会、於同館大会議室・オンライン併用、九月）／『正倉院文書目録』第九冊編纂トピック（正倉院文書研究会、於東大寺総合文化センター小ホール、一〇月）／正倉院文書の機能・形態・保管情報をめぐって―『正倉院文書目録』の編纂から―（史料編纂所第二九二回研究発表会、同所大会議室・オンライン併用、三月）

〔科学研究費補助金等による研究〕科学研究費補助金公開促進費データベース（「大日本史料総合データベース（平安時代・全文）」（代表者）／受託研究（福岡市史編集委員会）「福岡市域に関する史料の調査及び研究」（研究代表者）／国立歴史民俗博物館基盤研究「共同研究 高度情報化による古代中世の寺院および荘園の総合的研究―額田寺伽藍並条里図と栄山寺寺領文書を中心に―」（二〇二二年度）／史料編纂所特定共同研究「奈良平安時代の大規模写経群形成に関する史料学研究―小川八幡神社大般若経を核として―」（所内プロジェクト研究）正倉院文書目録／荘園絵図／奈良時代古文書全文データベースFUHITO／編年史料カードデータベースCHROH／正倉

院文書マルチ支援（多元的解析支援）データベースSHOMUS／編年史料（古代）編纂支援資源化データベースMIDOH

【所内業務】

〔編纂担当〕大日本史料第一編／正倉院文書目録／九世紀編年史料／日本荘園絵図聚影

〔成果物〕『日本荘園絵図聚影』釈文編四（中世三・古代補遺、東京大学出版会、三月）

〔史料採訪・調査〕和歌山県立博物館「小川八幡神社大般若経の調査・撮影」七月・一〇月・二月／静嘉堂文庫「静嘉堂文庫所蔵古写経の調査」一〇月／宮内庁正倉院事務所「正倉院文書調査」十一月／萩原寺「地藏院聖教の調査・撮影」二月／岐阜県東濃地域及び岐阜市域の国指定史跡等の巡見」二月

【所・学内行政】

〔学内委員等〕本郷地区キャンパスサブワーキンググループ委員／学生スポーツ連絡会委員・同ワーキンググループ委員（副座長）／一般財団法人東京大学運動会理事・企画委員・洋弓部長

【学外活動】

〔学会活動〕正倉院文書研究会委員・幹事／条里制古代都市研究会評議員／日本歴史学会評議員

〔大学教育〕法政大学文学部「日本古代史科学Ⅱa」（前期）／法政大学大学院人文科学研究所「日本古代史特殊研究Ⅰ・Ⅱ」

〔社会教育〕平安時代の受領と国家体制、そして尾張国解文（駿台歴史講座駿台学園中学校・高等学校 一〇月）

〔学外委員等〕文化庁文化審議会（文化財分科会）専門委員（第三専門調査会史跡委員会委員長）／文化庁中世城館・近世城郭遺跡等の保存に関する検討会委員／東京都文化財保護審議会委員（副会長）／日野市文化財保護審議会委員（会長）／福岡市史専門委員

稲田奈津子 画像史料解析センター・古代史料部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 古代儀礼史研究／東アジア比較文化史

〔編著書〕『東アジアの後宮』（アジア遊学二八三、共編著、勉誠出版、六月）

／『古代東亜世界的買地券』（浙江人民出版社、共編著、一月）／『静嘉堂所蔵

古写経群の調査と研究』（東京大学史料編纂所研究成果報告二〇二二—三—三、（公

財）静嘉堂調査報告書、共編著、三月）

〔論文〕「兎山郡買地券の「発見」—新出資料調査記—」（『東京大学史料編纂

所附属画像史料解析センター通信』一〇〇、四月）／『日本・朝鮮の金石文資料

にみる古代の後宮女性』（伴瀬明美・稲田奈津子・榎佳子・保科季子編『東

アジアの後宮』勉誠出版、六月）／『遺物が物語る古代の文化交流』（歴史科

学協議会編『深化する歴史学』大月書店、一月）／『韓国における金漆・黄漆

研究の現在』（『国立歴史民俗博物館研究報告』二四四、三月）

〔書評・紹介〕「文献案内 国史編纂委員会編『韓国古文書入門』1・2」（『東

京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信』一〇〇、四月）／『書評・

新刊紹介 伴瀬明美・稲田奈津子・榎佳子・保科季子編『東アジアの後宮』

〔『女性史学』三三三、一二月）

〔科学研究費補助金による研究 基盤研究(C)「東アジア墓葬文化の伝播と展

開—金石文資料の形態的分析を中心に—」研究代表者／基盤研究(B)「東アジ

ア諸地域における王室儀礼比較史のための国際的研究基盤の構築」（研究代

表者・伴瀬明美）研究分担者／挑戦的研究（萌芽）「忘れられた東アジアの

古代塗料「金漆」の復元研究」（研究代表者・小倉慈司）研究分担者

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕特定共同研究・古代史料領域「奈良

平安時代の大規模写経群形成に関する史料学研究—小川八幡神社大般若経を

核として—」研究代表者

〔画像史料解析センタープロジェクト〕「正倉院宝物図プロジェクト」研究代

表者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第一編／『九世紀編年史料』／『正倉院文書目録』

〔史料探訪・調査〕正倉院宝物図調査（東京国立博物館、四〇三月、一〇回）

／金漆調査（対馬市カクレミノ自生地、八月）／買地券・史跡調査（韓国国

立公州博物館・周辺史跡、一〇月）／正倉院文書の調査（宮内庁正倉院事務所、

一月）／正倉院宝物図調査（大阪府立中之島図書館、一月）／小川八幡神社

大般若経調査（和歌山県立博物館、二月）

〔教育〕文学部非常勤講師

【所・学内行政】

〔所内〕東アジア編纂機関協議会準備小委員会委員／社会連携・市民講座企

画検討小委員会委員長／研究企画委員会委員

〔学内〕男女共同参画室室員

【学外活動】

〔教育〕東洋大学・法政大学非常勤講師

〔共同研究〕国立歴史民俗博物館共同研究員（延喜式のデジタル技術の汎用

化）、研究代表者・小倉慈司）

〔学会活動〕正倉院文書研究会委員／日本歴史学会評議員／大丘史学会編集

委員

新井重行 古代史料部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 日本古代史（朝廷の儀礼・地方行政）・典籍の書誌学的検討

〔論文等〕（共著）「宮内庁書陵部所蔵伏見宮本『母后代々御賀記』」（『東京大

学史料編纂所研究紀要』三四、二〇二四年三月）／『内裏造営関係基礎史料集』

（東京大学史料編纂所研究成果報告書二〇二二—三—七、二〇二四年三月）

〔小論〕「東大寺山界四至図」と若草山争論」（『日本歴史』九〇五、二〇二

三年一〇月）／『藤原道長の生涯』（NHK大河ドラマ歴史ハンドブック 光

る君へ〈紫式部とその時代〉）NHK出版、二〇二四年一月）

〔書評・紹介〕（新刊紹介）「小笠原好彦著『古代宮都と地方官衙の造営』」（『史

学雑誌』一三二—一、二〇二三年一月）

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(A)「東アジアにおける工匠関連史

料にもとづく建築生産史の再構築と技術蓄積・伝播の解明」（研究代表者・

海野聡）研究分担者／基盤研究(A)「古文書科学」の応用実践（研究代表者・

渋谷綾子）研究分担者

〔共同利用・共同拠点による研究〕一般共同研究「中井家文書」の建築指図

と帳簿類の総合研究」(研究代表者・海野聡) 所内代表者

〔画像史料解析センタープロジェクト〕「正倉院宝物図」(本所所蔵台紙付写真・ガラス乾板に関する研究) / 「電子くずし字字典データベース開発」

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料第二編之三十三』の編纂

〔史料探訪・調査〕宮内庁書陵部(八月) / 松尾大社(九月) / 和歌山県立博物館(小川八幡神社大般若経)(一〇月・二月) / 京都御所東山御文庫(一〇月) / 正倉院文書(一二月) / 青蓮院(二月) / 京都府立京都学・歴史館(三月)

【所・学内行政】

〔所内〕図書運営委員会委員 / 技術部運営委員会委員 / 予算委員会委員 / 画像史料解析センター運営委員会委員 / 将来構想検討小委員会委員

【学外活動】

〔大学教育〕東京大学文学部非常勤講師 / 早稲田大学非常勤講師

〔社会教育〕文京アカデミア講座(六月一〇日、文京シビックセンター) / あきたスマートカレッジ(八月一九日、オンライン)

〔学会〕史学会編集委員 / 正倉院文書研究会委員

黒須友里江 古代史料部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 平安時代の政務・儀式に関する研究

〔史料紹介〕(共著)「宮内庁書陵部所蔵伏見宮本『母后代々御賀記』」(『東京大学史料編纂所研究紀要』三四、二〇二四年三月)

〔校訂・註釈〕「水左記」註釈(治暦元年八月〜二年正月) (『人文研究大 阪公立大学大学院文学研究紀要』七五、二〇二四年三月、磐下徹・堀井佳代子・宮川麻紀各氏と共著)

〔口頭報告〕「藤原頼通の政治手法」(日本史研究会例会「藤原頼通政権を考える」二〇二四年三月)

〔小論〕「踏歌節会後京極撰政次第」(『陽明文庫講座 図録五』東京大学史料編纂所研究成果報告二〇三二、一二月)、「紫式部の生涯」(『NHK大河ドラマ歴史ハンドブック 光る君へ(紫式部とその時代)』NHK出版、二

〇二四年一月)

〔その他〕「二〇二三年学界回顧 法制史」(『法律時報』九五―一三、一二月、日本法制史・古代を担当)

〔科学研究費補助金による研究〕若手研究「平安時代後期政治構造の史料学的研究」研究代表者

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕特定共同研究・古代史料領域「奈良平安時代の大規模写経群形成に関する史料学研究―小川八幡神社大般若経を核として―」共同研究者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料 第二編之三十三』の編纂

〔史料探訪・調査〕宮内庁書陵部所蔵史料の調査(八月)

【所・学内行政】

〔所内委員〕史料・図書選定委員会委員(一二月)、共同利用・共同研究拠点小委員会委員(一二月)

〔学外活動〕正倉院文書研究会委員・幹事

田島 公 古代史料部門 教授

【研究活動】

研究テーマ 日本古典学の文献学的研究(日本目録学・古代地域史研究・対外交流史)

【編著書】

1 田島公・海野聡・鶴見泰寿企画・監修『シンポジウム「飛鳥宮の儀礼と空間構成」報告集』(東京大学史料編纂所)、全八〇頁、二〇二三年

2 名和修・金田章裕・田島公企画・監修『陽明文庫講座図録5』(東京大学史料編纂所) 全四七頁、二〇二三年

3 海野聡・田島公企画・監修『国際研究集会「御所(宮殿)・邸宅造営関係資料の地脈と新天地」報告集(四)』(東京大学大学院工学系研究科建築学専攻海野聡研究室)、全六九頁、二〇二三年

4 田島公企画・監修『新発見史料・新解釈による古代・中世前期の信濃

1 「信濃史料」古代編(二・三卷)に係る未収史料の収集に関する基礎的研究」の成果―(東京大学史料編纂所)、全一〇六頁、二〇二四年

5 田島公「蔵書目録からみた天皇家文庫史―天皇家ゆかりの文庫・宝蔵の目録学的研究―」(塙書房)、二〇二四年

【論文・史料紹介】

1 田島公「飛鳥の王宮と外交儀礼―小墾田宮とエビノコ郭の機能―」(編著書1)、四一―五四頁

2 田島公「陽明文庫本『勘例賭弓之事』一題―大日本古記録『陽明文庫本勘例』上・下から―」(編著書2)、四一―四三頁

3 田島公「陽明文庫所蔵『兵範記』紙背文書に見える「郡寺」―「摸作」氏・「摸作郷」の検討から丹波国桑田郡の地域史・古代寺院と「郡寺」論に及ぶ―」(本郷真紹監修/山本崇・毛利憲一編『日本古代の国家・王権と宗教』法蔵館)、二〇二四年、六三一―六八九頁

4 田島公「西光寺所蔵『地藏菩薩像』納入「文治三年諸国勸進地藏菩薩印仏」に見える信濃国の結縁者―新たに紹介された「更科郡清水庄」・「富部御厨」の史料―」(編著書4)、三二―四〇頁

5 田島公「陽明文庫所蔵平信範書写『行親記』紙背「僧定寛書状」―信濃国水内郡撰関家領太田荘の年貢進上と「大洪水」―」(編著書4)、四三―五二頁

6 田島公「大祝家旧蔵諏訪教育会所蔵『神氏系圖稱一族系圖』所引「神氏系圖」から見た科野国造」(編著書4)、七二―七六頁

7 田島公「ヤマト王権の「東方十二道・東国」進出伝承の再検討―ヤマトタケルと甲斐・科野―」(編著書4)、七七―九四頁

8 田島公「十卷本『伊呂波字類抄』所引「善光寺(奈良)古縁起」の構造・伝来と信憑性」(編著書4)、五七―七一頁

【小文・研究動向】

1 田島公「問題提起「飛鳥宮」時代の特殊性―「天下」を喪失していた時代―」(編著書1)、五一―八頁

2 田島公「保延二年四月十七日付「信濃国宮田村司平家基解」―「知信記」天承二年夏巻紙背文書―」(編著書4)、五三―五四頁(再録)

3 田島公「長寛元年「撰関家諸荘未進注文」(陽明文庫所蔵『兵範記』仁安二年三月紙背)」(編著書4)、五五―五六頁(再録)

【講演・報告】

(講演)「ヤマトタケルと甲斐・科野―倭王権の「東方十二道・東国」進出伝承の再検討―」公開講座【新】古典から読み解く歴史学」二〇二三年九月二三日於金鶏会館/報告「飛鳥の王宮と外交儀礼―小墾田宮とエビノコ郭の機能―」シンポジウム「飛鳥宮の儀礼と空間構成」、二〇二三年九月三〇日於奈良県立橿原考古学研究所/報告「禁裏・公家文庫研究の一齣―洞院家旧蔵本と東山御文庫所蔵禁裏文庫本「外記政」を例に―」、二〇二三年度読史会、二〇二三年一月三日於京都大学芝蘭会館別館/講演「言問橋」

「言問通り」の地名の由来と『武蔵国浅草寺縁起』―「こととひ」地名と武射国造領域の「豊島屯倉」―公開講座【新】古典から読み解く歴史学」、二〇二四年三月二日於金鶏会館/報告「禁裏・公家文庫研究」プロジェクトの成果と未来」第二九二回研究発表会、二〇二四年三月二八日於東京大学史料編纂所福武ホール大会議室

【共同利用・共同研究】

二〇二三年度特定共同研究課題【古代史料領域】「奈良平安時代の大規模写経群形成に関する史料学研究―小川八幡神社大般若経を核として―」(研究代表者・稲田奈津子) 所内共同研究者/二〇二三年度一般共同研究課題「蒐集デジタル画像を用いた「魚魯愚鈔」の情報資源化及び平安・鎌倉期の除目書の総合的研究」(研究代表者・志村佳名子) 所内共同研究者/二〇二三年度一般共同研究課題「中井家文書」の建築指図と帳簿の総合研究」(研究代表者・海野聡) 所内共同研究者/二〇二三年度一般共同研究課題「富山県下(越中国)中近世文書の研究資源化」(研究代表者・萩原大輔) 所内共同研究者

【科学研究費補助金による研究】

基盤研究(A)「東アジアにおける工匠関連史料にもとづく建築生産史の再構築と技術蓄積・伝播の解明」(研究代表者・海野聡) 研究分担者

【所・学内業務】

【史料編纂】「大日本史料」三編之三十一の編纂

【史料調査・採訪等(抄)】陽明文庫・奈良県立橿原考古学研究所

「教育」東京大学大学院人文社会系研究科・日本古代史演習「平安時代の政治・社会・文化の研究」

「概算要求プロジェクト」天皇家公家の「知」の体系としての文庫・宝蔵研究拠点創設（二〇二〇年度～二〇二四年度の最終年度）

【学外活動】

「教育」関西大学大学院文学研究科・日本古代史講義（前期集中講義）／放送大学「日本史料を読む（21）」大学院科目（ラジオ授業 第2回～第4回・第8回）

「研究指導」奈良県立橿原考古学研究所特別指導研究員／飯田市歴史研究所顧問研究員

「文化財行政」奈良県文化財保護審議会委員

「学会活動」史学研究会（京都大学）・日本古文書学会・日本歴史学会（以上、評議員）／糸里制・古代都市研究会／正倉院文書研究会／木簡学会／史学会（東京大学）

「自治体史編纂」新編西尾市史編集委員会委員（古代・中世部会）（古代史部会部会長）

「公益活動」公益財団法人陽明文庫理事／一般社団法人長野教育振興会顧問

藤原重雄 古代史料部門 准教授／画像史料解析センター兼任

【研究活動】

研究テーマ 中世文化史・社会史／絵画史料論

〔論文〕「洛中洛外図屏風の祖型を探る―行事画像の理解―歴博甲本の能舞台―」（『中世文学』六八、二〇二三年六月）／伏見・大光明寺の舞楽図障子について（『国華』一五三七、二〇二三年一月）

〔翻刻・解題〕「〔東京帝国大学附属図書館所蔵〕絵画本目録稿」翻刻（丹藤真子氏・佐竹朋子氏と共著、UTokyo Repository、二〇二三年六月）／国立公文書館所蔵内閣文庫本大乘院文書『御参宮雑々記（文永二年）』（土山祐之氏と共著、『東京大学史料編纂所研究紀要』三四、二〇二四年三月）

〔小論・紹介等〕「野口遵氏寄贈原本類についての覚書」（『画像史料解析センター通信』一〇〇、二〇二三年四月）／「勘例」紙背文書―光厳・崇光両院

の「帰京―」（名和修・金田章裕・田島公監修『陽明文庫講座図録』五、東京大学史料編纂所・陽明文庫・京都府京都市・歴史館、二〇二三年一月）／「晴富宿禰記」紙背文書にみえる「洛中図」―洛中洛外図研究と史料の読み直し―

〔画像史料解析センター通信』一〇三、二〇二四年一月）／「書評と紹介」静岡県富士山世界遺産センター編『富士山学』第二号（『山岳修験』七〇、二〇二三年二月（四月））／「〔東京帝国大学附属図書館所蔵〕絵画本目録稿」

の翻刻」（『画像史料解析センター通信』一〇一、二〇二三年七月）／「大西さんとの「場」」（『大西廣遺稿等・追悼文集』二〇二三年七月）／「史料編纂掛

備用写真画像図画類目録」図画・雑の部・新旧架番号対照表」（土橋悠矢氏と共同、UTokyo Repository、二〇二三年八月）／『画像史料解析センター通信』一〇〇（二〇二三年四月）に「文献案内」一件、「同」一〇一（二〇二

三年七月）に二件、「同」一〇三（二〇二四年一月）に一件

〔口頭報告・講演〕「扁額模写の蒐集および額字集」（第一五八回「書物・出版と社会変容」研究会 佐倉大会、国立歴史民俗博物館、二〇二三年四月八日）／「歴博甲本「洛中洛外図屏風」に描かれた犬馬場の位置」（第二回藝能

史研究会東京特別集会・シンポジウム「芸能史研究からの絵画史料論再考」、オンライン、二〇二三年二月九日）

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(A)「荘園絵図調査・解析方法に関する総括的研究と汎用的な歴史地理情報への応用研究」（研究代表者・井上聡）／基盤研究(B)「中世絵師組織の社会的活動基盤と様式系統の相関―十四

世紀の縁起・絵伝を結節点として」（同・高岸輝）・「勧修寺資料からみた文庫の形成・維持に関する総合的研究―新たな寺院文化論として―」（同・佐藤愛弓）の研究分担者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第三編之三十一の出版準備／『日本荘園絵図聚影』

積文編・中世三の刊行

〔史料調査・採訪（抄）〕宮内庁書陵部／東京大学総合研究博物館／神奈川県立金沢文庫／京都御所東山御文庫／仁和寺／青蓮院／聖護院／京都大学総合博物館／春日大社／福岡市博物館。

〔所内・拠点プロジェクト〕画像史料解析センタープロジェクト「中近世肖

像画研究」(代表)・「日本荘園絵図聚影」 釈文編・中世刊行」(代表)・「近世都市図解析」・「正倉院宝物図」・「本所所蔵台紙付写真・ガラス乾板に関する研究」・「金石文拓本史料の整理と公開」/共同利用・共同研究拠点の特定共同研究(複合)「荘園絵図調査方法論の高度化と調査関連情報の学術資源化に関する研究」

【学外業務】

明治大学文学部兼任講師(「日本史画像資料研究」/国立歴史民俗博物館共同研究員(展示プロジェクト)「いにしえが、好きっ!」近世好古図録の文化誌―)

【所・学内行政】

〔所内委員〕画像史料解析センター運営委員会

小塩 慶 古代史料部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 古代文化史の研究
〔論文〕「平安中後期の祥瑞」(『日本史研究』七二八、二〇二三年四月) / 「国風文化」はいかに論じられてきたか(有富純也・佐藤雄基編)「撰関・院政期研究を読みなおす」思文閣出版、二〇二三年一月 / 「日本の祥瑞の流れ」(水口幹記)「東アジアの世界分析の方法―(術数文化)の可能性」文学通信、二〇二四年二月

〔小論〕「『類聚雜例』第八表紙―『勘例』原表紙の復元―」(名和修・金田章裕・田島公企画)・監修「陽明文庫講座 図録5 陽明文庫史料からの新発見(4)」東京大学史料編纂所・公益財団法人陽明文庫・京都府立京都学・歴史館、二〇二三年一月

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(B)「平安時代における「国風」的文化現象の学際的総合研究」(研究代表者・佐藤全敏) 研究分担者
〔共同利用・共同研究拠点による研究〕特定共同研究(古代史料領域)「奈良平安時代の大規模写経群形成に関する史料学研究―小川八幡神社大般若経を核として―」共同研究者 / 一般共同研究「日本史用語グロッサリーの再構築にむけて」所内担当者、同「蒐集デジタル画像を用いた「魚魯愚鈔」の情報

資源化及び平安・鎌倉期の除目書の総合的研究」共同研究者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕「大日本史料」第三編之三十一の編纂
〔史料調査・採訪〕青蓮院門跡吉水藏聖教の調査・撮影(六月・二月) / 醍醐寺所蔵史料の調査・撮影(八月) / 京都御所東山御文庫所蔵史料の調査(一〇月) / 宮内庁正倉院事務所正倉院文書の調査(一月) / 和歌山県立博物館寄託史料の調査・撮影(二月)

【所・学内行政】

〔所内委員〕画像史料解析センター運営委員会委員 / 前近代日本史情報国際センター運営委員会委員 / 共同利用・共同研究拠点小委員会委員

本郷和人 古代史料部門 教授

【研究活動】

研究テーマ 中世政治史 / 中世史料論
【所・学内業務】
〔編纂〕「大日本史料第五編之三十八」の編纂
【学外活動】
〔著書〕『黒幕の日本史(文春新書)』(文芸春秋社、二〇二三年四月) / 『恋愛の日本史(宝島社新書)』(宝島社、二〇二三年七月) / 『愛憎の日本史(扶桑社新書)』(扶桑社、二〇二三年一月)

西田友広 中世史料部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 中世の警察・検察権と社会構造の研究
〔論文〕「Polizeigewalt, Strafreichsbarkheit und die Verfasstheit des frühmittelalterlichen Japan」(「中世前期の検断と国制」翻訳クリスチャン・ヴェルナー) / Delev Taranczewski / Christian Werner (Hg.) 「Funktionale Differenzierung königlicher Herrschaft und die Bildung neuer Eliten im Japan des 12. bis 14. Jahrhunderts」(Studien zu Macht und Herrschaft, Bd. 18, Bonn University Press bei V&R unipress, 2023) (デトフ・タラン

チエフスキ、クリスチャン・ヴェルナー編『二世紀から一四世紀にかけての日本における王政の機能分化と新たなエリート形成』(『権力と支配に関する研究』第一八巻、ボン大学出版局、二〇二三年)

「Gerichtbarkeit und Strafverfolgung Zentralstaatliche Institutionen, regionalspezifische Praktiken und die jeweilige Frage der Verschriftlichung」(『裁判権と刑事訴追—国家機関と地方慣習そして文字化の問題—』翻訳クリスチャン・ヴェルナー) 同前

〔小文〕「寄進地系? 領域型?—中世荘園を考える—」(NEW SUPPORT 高校社会) 四〇号(東京書籍、二〇二三年九月)／「足利直冬の京都進攻とある文書の行方」(『日本歴史』九〇九号、二〇二四年一月)

〔講演〕「海の武士・都野氏と江津・都野津」(第二二回石見国巡回講座、二〇二三年一〇月二八日、於江津市総合市民センター)

「観音信仰と中世の武士」(石見銀山領三三カ所巡り歴史連続講演会二、二〇二三年一〇月二九日、於江津市川越地域コミュニティ交流センター)

〔科学研究費助成事業〕
基盤研究(A)「断片的史料情報の集積と歴史知識情報の相互参照体制の確立による新たな史料学構築研究」 研究代表者

基盤研究(B)「原本史料情報解析」の方法による中世西国武家文書の研究と展開」(研究代表者 本郷恵子) 研究分担者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第六編の編纂

〔史料探訪〕鳥根大学図書館所蔵文書ほかの調査・撮影(二〇二三年七月)／大阪府堺市法道寺所蔵文書ほかの調査・撮影(二〇二三年一〇月)／奈良県西大寺文書の調査(二〇二三年一〇月)／鳥根県大田市順勝寺旧蔵文書の調査・撮影(二〇二三年一〇月)

〔所内プロジェクトなど〕画像史料解析センタープロジェクト「中近世肖像画研究プロジェクト」メンバー／同「今川了俊花押の収集と編年研究」メンバー／「原本史料情報解析」の方法による南九州関係文書の保全と研究プロジェクト」メンバー／一般共同研究「日本史用語グロッサリーの再構築にむけて」メンバー／日本古文書ユニオンカタロググループ代表／大日本史料総

合データベースグループメンバー／日本史用語翻訳グロッサリー・データベース(旧応答型翻訳支援システム)グループメンバー／南北朝遺文データベースグループメンバー

【所・学内行政】

〔所内〕図書運営委員会委員長／将来構想検討小委員会委員／デジタル撮影等に関する課題検討グループメンバー

【学外活動】

〔委員等〕鳥根県古代文化センター客員研究員(基礎研究)／『日本歴史』編集委員会委員／日本歴史学会評議員／東京書籍高等学校『日本史探究』教科書執筆委員

林 遼 中世史料部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 室町幕府の公家・寺社支配に関する研究

〔論文〕「室町期東寺にみる醍醐寺三寶院の政治的位置」(『歴史学研究』一〇四〇号、二〇二三年一〇月)

〔研究報告〕「室町殿主催行事と室町期公家社会」(国史学会四月例会、二〇二三年四月)／「室町期公武祈禱論再考」(東京大学中世史研究会一月例会、二〇二四年一月)／「足利義満の伝奏支配と朝廷政務」(日本史研究会中世史部会二月部会、二〇二四年二月)

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第六編之五十二の編纂

〔史料探訪〕神奈川県立金沢文庫寄託史料の調査・撮影(横浜市、通年)／青蓮院門跡吉水藏聖教の調査・撮影(京都市、二〇二三年六月)／松尾大社所蔵史料の調査(京都市、九月)／登米懐古館所蔵伊達文書の調査・撮影(宮城県登米市、一〇月)／仁和寺史料の調査・撮影(京都市、一二月)／常楽寺所蔵史料の調査・撮影(長野県上田市、二〇二四年三月)

【所・学内行政】

〔所内〕史料探訪委員会幹事／東アジア史料編纂機関国際学術会議準備小委員会委員

前川祐一郎 中世史料部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 中世法の研究

〔科学研究費補助金による研究〕「公家法・公家家法・寺社法を中心とした中世法制史料の高度研究資源化」(基盤研究(C))の研究代表者

〔所内研究プロジェクト〕「荘園絵図プロジェクト」

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第七編之三十三の編纂・出版準備

〔史料探訪〕奈良県奈良市葉師寺所蔵史料の調査・撮影(二〇二三年七月)

【所・学内行政】

〔所内〕史料探訪委員会委員(副委員長)

海上貴彦 中世史料部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 中世の朝廷・貴族の研究

〔論文〕「撰関家はいかなる権力であるか―院政期の「権門」と「家」―」(有富純也・佐藤雄基編『撰関・院政期研究を読みなおす』思文閣出版、二三年一月)／「九条道家晩年の継承構想―撰家分立の一過程―」(『明星大学研究紀要 人文学部・日本文化学科』三二、二四年三月)

〔小文〕「後一条天皇」「後朱雀天皇」「後冷泉天皇」(樋口健太郎・栗山圭子編『平安時代天皇列伝―桓武天皇から安徳天皇まで―』戎光祥出版、二三年

一月)

〔研究報告〕「南北朝期の大殿―北朝政務と撰関家―」(第九五回室町期研究会例会、二三年七月)／「九条道家の生き残り戦略―撰家分立の一過程―」

(Antiold友の会第二回研究大会、二三年九月)／「藤原頼通政権と時期区分論―古代・中世移行期のなかの藤原頼通―」(日本史研究会三月例会「藤原

頼通政権を考える」、二四年三月)

〔講演〕「紙背文書とその世界―貴族たちの生活と交流、政治―」(『東京大学

史料編纂所協力講座』歴史を伝える手紙、二三年六月・あきたスマートフォン

シ 東大史料編纂所協力講座「歴史を伝える手紙」、二三年九月)／「金峯山

と貴族社会」(『東京大学史料編纂所二〇二三年度一般共同研究「吉野修験関

係資料の調査」成果報告会「古文書がひらく中世の吉野」、二四年三月)

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕一般共同研究「吉野修験関係史料の

調査」所内担当者/特定共同研究「荘園絵図調査方法論の高度化と調査関連

情報の学術資源化に関する研究」所内共同研究者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第七編之三十三の編纂

〔史料探訪・調査〕奈良県吉野町桜本坊所蔵史料・前坊家史料の調査・撮影(二

三年六月・一月)／奈良県奈良市葉師寺所蔵史料の調査・撮影(二三年七月)

／醍醐寺所蔵史料の調査・撮影(二三年八月)／福岡市博物館所蔵史料の調

査(二三年九月)／京都御所東山御文庫本の調査(二三年一〇月)

【所・学内行政】

〔所内〕図書選定委員会委員/共同利用・共同研究拠点小委員会委員

【学外活動】

〔教育〕明星大学非常勤講師

末柄 豊

中世史料部門 教授/前近代日本史情報国際センター(兼任)

【研究活動】

研究テーマ 室町時代の政治史・文化史・史料の研究

〔報告書〕「音羽山 清水寺中世文書」東京大学史料編纂所研究成果報告二〇

二二一、二月(村井祐樹氏との共編)

〔解説〕「蜷川親元の手になる文書のありがたさ」『蜷川新右衛門さん―室町

幕府政所代蜷川家の盛衰―富山市郷土博物館、九月/「飛鳥井雅康仮名消息」

『陽明文庫講座 図録五』東京大学史料編纂所・陽明文庫・京都府立京都学歴

彩館、一月)

〔口頭報告〕「興福寺の日記・記録を考える」公開研究会「中近世寺社記録論

の探究二」、東京大学史料編纂所、五月

〔科学研究費による研究〕「筆跡・花押情報の高利用研究―収集スキーム

の錬成と関連歴史情報との統合による―」(基盤研究(A))の研究代表者

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕「近江国惣村文書を対象とした横断的

原本研究の試み」（一般共同研究、研究代表者・宇佐見隆之、「大阪青山大学所蔵武家受給給文書に関する基礎的研究―室町幕府文書を中心に―」（一般共同研究、研究代表者・小倉嘉夫）の所内共同研究者

【所・学内業務】

〔編纂〕『大日本史料』第八編之四十五の編纂（二〇二四年五月刊行）

〔史料探訪〕宮崎文庫記念館、大阪青山歴史文学博物館、陽明文庫、六月／西大寺、富山市立図書館、一〇月／京都御所東山御文庫、勝尾寺、十一月／萩原寺、大津市歴史博物館、亀岡市文化資料館、大阪青山歴史文学博物館、滋賀大学経済学部附属史料館、一二月／石水博物館、志摩市志摩町片田自治会、同市阿児町立神区、二月／善通寺、三月

【所・学内行政】

〔所内〕情報処理主幹／前近代日本史情報国際センター運営委員会委員長／予算委員会委員／研究会企画委員会委員／財務企画小委員会委員／史料編纂所協議会委員／中世史料部門代表ほか

〔学内〕情報基盤センター運営委員会委員

【学外活動】

〔教育〕法政大学非常勤講師（大学院人文科学研究科日本中世史特殊研究）／学習院大学非常勤講師（大学院人文科学研究科古文書学文献学研究）

〔文化財行政〕文化庁調査員（文化財第一課）

〔学会〕日本歴史学会評議員

渡邊正男 中世史料部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 法・制度と権利に関する歴史的研究

〔論文〕「御教書札」について」（『アルケイア』記録・情報・歴史―第一八号、二〇二三年一月）

〔史料紹介〕「宮内庁書陵部所蔵『自宝曆至文久御車新調並修覆書類』」（『科学研究費補助基金盤研究』研究報告書 牛車の中世的展開に関する研究―文献とモノによるアプローチ―）（研究代表者 木村真美子（学習院大学）、二〇二四年三月）

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕「高野山子院伝来資料の分野横断的研究―金剛三昧院・西南院を中心に―」（一般共同研究、研究代表者 坂口太郎（高野山大学）の所内共同研究者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第九編之三十の編纂・刊行

〔史料探訪〕東山御文庫所蔵史料の調査（京都市、二〇二三年一〇月）／三重県下中近世史料の調査・撮影（三重県津市・志摩市、二〇二四年二月）

〔データベース〕「日本古文書ユニオンカタログ」代表／大日本史料総合データベース」代表／「編年史料集データベース」代表

【所・学内行政】

〔所内〕所報・紀要委員会委員長

〔学内〕教養学部附属教養教育高度化機構国際連携部門LAP（Liberal Arts Program）執行委員会委員

【学外活動】

〔研究〕学習院大学史料館客員研究員

金子 拓 中世史料部門・前近代日本史情報国際センター 教授

【研究活動】

研究テーマ 織田信長・豊臣秀吉の時代と史料の研究

〔著書〕『長篠合戦 鉄砲戦の虚像と実像』（中央公論新社〈中公新書〉、二〇二三年一月）

〔論文〕「織田信長の遊び」（『日本歴史』九〇八、二〇二四年一月）「大垣市郷土館所蔵「長篠合戦図屏風」の検討」（二〇二〇～二〇二三年度科学研究費補助金（基盤研究A）研究報告書『戦国軍記・合戦図の史料学的研究』研究代表者堀新、二〇二四年二月）

〔史料校訂・紹介〕「史料紹介 国立公文書館内閣文庫所蔵『権現様御一代記』（前掲『戦国軍記・合戦図の史料学的研究』、二〇二四年二月）／『宣教卿記』天正三年記紙背文書（二）」（遠藤珠紀・宮崎肇氏との共著、『早稲田大学図書館紀要』七一、二〇二四年三月）

〔その他〕「小野寺義道―周辺領主を束ねた仙北地域の領袖―」（遠藤ゆり子、

竹井英文編『戦国武将列伝一 東北編』戎光祥出版、二〇二三年四月／「信長が用いた「天下」(山川歴史PRESS)一三、二〇二三年四月」／「存亡を懸けた一戦で徳川軍は何を成したか」(歴史街道)二〇二三年五月号、二〇二三年四月」／「競うように接待しあう家康と信長…本能寺直前に何かあったか」(歴史街道)二〇二三年七月号、二〇二三年六月

〔講演・口頭報告〕「裏切られ信長―そして裏切らない家康」(令和五年春季特別展記念講演会、滋賀県立安土城考古博物館、二〇二三年五月一四日)／「中近世における披見後書状の保管伝来についての試論」(佐竹文書を素材に) (国史学会、二〇二三年六月一日)／「長篠の戦いの記憶と情報リテラシー」(歴史家ワークシヨップ・アカデミア×ビジネスvol.5、東京大学経済学部小島ホール、二〇二三年七月二六日)／「織田信長と馬」(馬の博物館秋季特別展・記念講演会、馬の博物館、二〇二三年一月一八日)／「戦国時代のおもてなし」(第一七回信長学フォーラム、岐阜じゅうろくプラザ、二〇二三年一月二五日)

〔科学研究費補助金による研究〕「神社文書・社家文書の一体把握による中近世賀茂別雷神社の総合的研究」(基盤研究(A) 研究代表者／「戦国軍記・合戦図の史学的研究」(基盤研究(A) 研究代表者堀新) 研究分担者) (共同利用・共同拠点による研究) 特定共同研究・中世史料領域「賀茂別雷神社文書・社家文書の調査・研究」研究代表者

【所内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第十編の編纂
〔史料探訪〕賀茂別雷神社所蔵文書の調査・撮影(二〇二三年六月・二〇二四年三月)／平戸市松浦史料博物館所蔵史料の調査・撮影(二〇二三年一月)／大徳寺本坊・同龍源院所蔵史料の調査(二〇二三年一月)／岩佐家文書の調査・撮影(二〇二三年一月・二〇二四年一月)

【所内行政】

前近代日本史情報国際センター運営委員／史料探訪委員会委員長

【学内活動】

〔教育〕文学部・人文社会系研究科文化資源学特殊講義ⅩⅢ担当
〔行政〕本部予算委員会企画調整分科会委員

【学外活動】

〔研究〕國學院大学研究開発推進機構共同研究員
〔教育〕國學院大学大学院文学研究科兼任講師／朝日カルチャーセンター新宿教室講師／早稲田エクステンションセンター中野校講師／板橋グリーンカレッジ大学院講師

〔学会〕日本歴史学会評議員／『日本歴史』編集委員
〔その他〕賀茂別雷神社史料編纂会編集委員／讀賣新聞読書委員(二〇二三年一月二日まで)

黒嶋 敏 中世史料部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 中世地域・海域社会の研究

〔論文〕「都城島津邸所蔵「琉球并諸島図」について」『東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信』一〇一、二〇二三年七月／「正保琉球国絵図を読み解く」『琉球沖繩歴史』五、二〇二三年八月／「IIFを用いた前近代絵図の比較支援ツールの開発」(中村寛氏・畑山周平氏・山田太造氏との共著)『じんもんこん論文集二〇二三』二〇二三年二月／「奥羽から見た越後応永の乱―伊達氏の侵入とその背景―」『国立歴史民俗博物館研究報告』二四五、二〇二四年三月

〔その他〕「東京大学史料編纂所「正保琉球国絵図デジタルアーカイブ」の公開」『九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻年報』二〇二四年三月

〔学会報告〕「東京大学史料編纂所所蔵の明代関係史料」(須田牧子氏との連名)国際シンポジウム「モノとしての東ユーラシア世界の公文書」東国大学校文化学術院のHK+事業団「東ユーラシア世界における物品の文明・文化史」主催、二〇二三年八月九日／「琉球の海と航路―沖縄県立博物館・美術館令和五年度博物館企画展開催記念シンポジウム「琉球の海 倭寇の海」、二〇二三年一月八日

〔科学研究費補助金による研究〕「大型絵図類のデータ構造化と関連史料の連携による南西諸島「海上の道」の復元的研究」(基盤研究(A) 研究代表者)／「中

世東アジア海域の地域社会と琉球帝国―集落・信仰・技術―(基盤研究(A) 研究代表者村木二郎) 研究分担者

〔その他の寄付金などによる研究の活動〕「前近代の那覇港における航路と聖地」JFE二二世紀財団アジア歴史研究助成(研究代表者)

〔共同利用・共同拠点による研究〕特定共同研究・複合史料領域「荘園絵図調査方法論の高度化と調査関連情報の学術資源化に関する研究」(所内共同研究者)／「史料編纂所所蔵明清中国公文書関係史料の比較研究」(所内共同研究者)

〔画像史料解析センタープロジェクト〕琉球諸島絵図研究プロジェクト(代表者)

【所・学内業務】

〔史料編纂〕「大日本史料」第十編之三十一の編纂・出版

〔データベース等の公開〕都城島津邸所蔵「琉球并諸島図」デジタルアーカイブ〔記者発表〕「新たなシステムによる絵図画像の公開開始―都城市・東京大学史料編纂所の連携促進による成果の拡大―」都城市役所(二〇二三年九月二〇日)

〔史料探訪・調査〕都城島津邸所蔵史料の調査・撮影(二〇二三年七月)／ソウル大学奎章閣・附属図書館・韓国学中央研究院・国立中央研究院所蔵史料の調査(二〇二三年八月)／藤井斉成会有鄰館所蔵史料の調査・撮影(二〇二三年九月)／三井文庫所蔵史料の調査(二〇二三年一〇月)／沖縄県立図書館所蔵史料の調査(二〇二三年一月)／広島市立図書館所蔵史料の調査(二〇二三年一月)／本居宣長記念館所蔵史料の調査(二〇二四年一月)／東京大学附属総合図書館所蔵史料の調査・撮影(二〇二四年二月)／中央研究院・故宮博物館所蔵史料の調査(二〇二四年三月)／名古屋大学附属図書館所蔵史料の調査(二〇二四年三月)／鹿児島県立図書館所蔵史料の調査(二〇二四年三月)

【所・学内行政】

〔所内〕研究企画委員会／画像史料解析センター運営委員会(委員長)／東アジア史料研究編纂機関国際学術会議準備小委員会

〔学内〕海洋アライアンス連携研究機構・推進委員会

【所・学内教育】

〔教育〕教養学部全学自由研究セミナー(Sセメスター・Aセメスター)

【学外活動】

〔教育〕聖心女子大学非常勤講師

〔共同研究〕国立歴史民俗博物館展示委員

〔学会〕歴史学研究会委員(二〇二三年五月まで)／日本歴史学会評議員(二〇二三年八月から)

〔その他〕公益財団法人伏見記念財団奨学金選考委員／公益財団法人日本国際問題研究所尖閣資料検討会委員

須田牧子 中世史料部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 中世対外関係史の研究

〔論文〕「永楽五年付足利義満宛永楽帝勅諭諸本について」岡本真氏と連名「東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信」一〇三号、二〇二四年一月。

〔史料紹介〕「史料紹介・綱光公記―宝徳三年七月―九月記、禁裏晴蹴鞠記、網光公平野祭参向記」(遠藤珠紀・田中奈保・桃崎有一郎氏と連名、「東京大学史料編纂所研究紀要」三四号、二〇二四年三月)。

〔口頭報告〕「東京大学史料編纂所所蔵の明代関係史料」(黒嶋敏氏と連名、東国大学校文化学院HK+事業団・東京大学史料編纂所共催シンポジウム「モノとしての東ユーラシアの公文書」、於大韓民国東国大学校、二〇二三年八月九日)。

〔その他〕「倭寇図巻」をよむ(「展覧会図録『海を越える人々―琉球と倭寇のもの語り』沖縄県立博物館・美術館、二〇二三年九月)。

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(A)「大型絵図類のデータ構造化と関連史料の連携による南西諸島『海上の道』の復元的研究」(研究代表者黒嶋敏) 研究分担者／基盤研究(A)「戦国軍記・合戦図の史料学的研究」(研究代表者堀新「共立女子大学」) 研究分担者／基盤研究(B)「中世日本往復外交文書の古文書学的研究―明清・朝鮮公文書研究の一環として」(研究代表者

荒木和憲〔九州大学〕研究分担者。

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料 第十編之三十一』の編纂・出版。

〔共同研究〕一般共同研究「史料編纂所所蔵明清中国公文書関係史料の比較研究」（研究代表者渡辺美季）所内担当者／画像史料解析センタープロジェクト「長篠合戦図屏風プロジェクト」（研究代表者金子拓）共同研究者／「琉球諸島絵図研究プロジェクト」（研究代表者黒嶋敏）共同研究者／同「外交文書研究プロジェクト」（研究代表者岡本真）共同研究者。

〔史料探訪・調査〕園城寺所蔵大藏経の調査（滋賀県、二〇二三年五月）／西山寺文書の調査撮影（長崎県、二〇二三年六月）／東国大学図書館・国立中央博物館・韓国学中央研究院蔵書閣・ソウル大学奎章閣所蔵史料の調査（大韓民国、二〇二三年八月）／松浦史料博物館所蔵史料の調査撮影（長崎県、二〇二三年一〇月）／大徳寺所蔵史料の調査（京都府、二〇二三年一〇月）／古河歴史博物館所蔵史料の調査（茨城県、二〇二三年一月）／仁和寺所蔵史料の調査撮影（京都府、二〇二四年三月）。

【所・学内行政】

〔所内〕史料図書選定委員会委員（委員長）／東アジア編纂機関協議会準備小委員会委員。

【学外活動】

〔社会教育〕博物館文化講座「倭寇図巻を読む」（沖縄県立博物館・美術館、二〇二三年九月三〇日）

〔文化財行政〕文化庁調査員（文化財第一課）

村井祐樹 中世史料部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 室町・戦国大名の研究、中世後期社会の研究

〔編纂〕『大日本史料 第十一編之三十一』の編纂・出版

〔史料集〕『音羽山清水寺中世文書』（東京大学史料編纂所研究成果報告二〇二二―一）／『島津家文書『御文書外』 中世文書集』（同二〇二二―一六）

〔史料探訪〕京都府京都市京都市歴史資料館所蔵・寄託史料の調査・撮影（二

三年四月）／東京都品川区個人所蔵文書の調査・撮影（二三年四月）／福岡県福岡市称名寺・福岡市博物館所蔵史料の調査・撮影（二三年五月）／福岡県太宰府市九州国立博物館所蔵、同県柳川市柳川古文書館所蔵史料の調査・撮影（二三年五月）／滋賀県近江八幡市個人所蔵、同県彦根市彦根博物館所蔵史料の調査・撮影（二三年五月）／富山県富山市富山大学図書館所蔵、同県黒部市宮崎文庫記念館所蔵、石川県七尾市七尾漁業協同組合所蔵、同市のと里山里海ミュージアム所蔵・寄託文書の調査・撮影（二三年六月）／兵庫県川西市大阪青山文学博物館所蔵文書の調査・撮影（二三年六月）／大阪府高槻市しろあと歴史館所蔵・寄託史料の調査・撮影（二三年六月）／長野県上田市願行寺所蔵、同県長野市信綱寺所蔵、同市真田宝物館所蔵、同県千曲市長野県立歴史博物館所蔵史料の調査・撮影（二三年六月）／東京都あきる野市五日市市郷土館所蔵・寄託、広徳寺所蔵、阿伎留神社所蔵史料の調査・撮影（二三年六月）／京都府京都市清水寺所蔵、同市京都市歴史資料館寄託史料の調査・撮影（二三年六月）／島根県松江市島根大学図書館所蔵、同市島根県立図書館所蔵、同県大田市銀山世界遺産センター所蔵史料の調査・撮影（二三年七月）／兵庫県尼崎市尼崎市立歴史博物館所蔵史料の調査・撮影（二三年七月）／静岡県掛川市個人所蔵史料の調査・撮影（二三年八月）／石川県金沢市石川県立博物館所蔵・寄託、同市金沢市立図書館所蔵史料の調査・撮影（二三年八月）／大阪府箕面市勝尾寺所蔵史料の調査・撮影（二三年九月）

一月・二四年三月）／東京都渋谷区國學院大學所蔵『久我家文書』の調査・撮影（二三年九月）／茨城県石岡市個人所蔵史料の調査・撮影（二三年九月）／大阪府堺市法道寺所蔵、堺市博物館所蔵・寄託、同府大阪市歴史博物館所蔵・寄託史料の調査・撮影（二三年一〇月）／佐賀県佐賀市佐賀県立図書館所蔵史料の調査・撮影（二三年一〇月）／神奈川県鎌倉市八雲神社文書の調査・撮影（二三年一〇月）／宮城県仙台市個人所蔵、同県登米市所蔵史料の調査・撮影（二三年一〇月）／島根県大田市個人所蔵史料の調査・撮影（二三年一〇月）／福島県福島市個人所蔵、山形県米沢市上杉博物館所蔵、同県南陽市個人所蔵史料の調査・撮影（二三年一〇月）／大阪府大阪市大阪城天守閣所蔵史料の調査・撮影（二三年十一月）／大阪府吹田市吹田市立博物館寄託史料の調査・撮影（二三年十一月）／滋賀県大津市本福寺所蔵、

同市大津市歴史博物館所蔵、京都府亀岡市亀岡市文化資料館所蔵・寄託、兵庫県川西市大阪青山文学博物館所蔵文書の調査・撮影（二三年二月）／滋賀県彦根市滋賀大学寄託菅浦文書の調査（二三年二月）／神奈川県横浜市の博物館所蔵史料の調査・撮影（二四年一月）／長崎県対馬市個人所蔵史料の調査・撮影（二四年一月）／兵庫県姫路市兵庫県立歴史博物館所蔵、同市林田神社所蔵、同市姫路城郭研究所所蔵史料の調査・撮影（二四年二月）／静岡県清水町個人所蔵史料の調査・撮影（二四年二月）／大阪府富田林市大阪大谷大学博物館寄託史料の調査・撮影（二三年二月）／徳島県藍住町見性寺文書、徳島市徳島県立博物館所蔵、同市徳島城博物館所蔵、香川県三豊市本門寺、同市常徳寺所蔵史料の調査・撮影（二四年二～三月）／山口県山口市個人所蔵、同市山口市歴史民俗資料館、山口県文書館所蔵・寄託史料の調査・撮影（二四年三月）／奈良県奈良市個人所蔵文書の調査・撮影（二四年三月）／滋賀県近江八幡市大嶋奥津嶋神社文書の調査・撮影（二四年三月）

〔所内〕 所報紀要委員会

〔所外〕 歴史文化伝承財団評議員

畑山周平 中世史料部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 中近世移行期大名の研究

〔論文等〕「史料紹介 愛媛県龍澤寺所蔵『薩州本山福昌寺年来記抜書』上」（水野嶺氏との共著）『尚古集成館紀要』二二、二三年二月

〔講演〕「大名が家康から受けた「厚恩」」（東京都・文京アカデミア講座、二三年一〇月。愛知県・栄中日文化センター講座、二三年十一月）／「古文書から拡がる世界」（鹿児島県・川内歴史資料館開館四〇周年記念講演会、二四年二月）

〔科学研究費補助金による研究〕「原本史料情報解析」の方法による中世西国武家文書の研究と展開」（基盤研究(B)代表本郷恵子）研究分担者／「薩摩・琉球における境界領域の身分制に関する包括的研究」（基盤研究(C)、代表山田浩世（沖縄県立芸術大学）研究分担者）／「近世書状史料群の研究と歴史情報資源化」（基盤研究(B)、代表松澤克行）研究分担者）／「大型絵図類のデータ

構造化と関連史料の連携による南西諸島「海上の道」の復元的研究」（基盤研究(A)、代表黒嶋敏）研究分担者

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕特定共同研究「荘園絵図調査方法論の高度化と調査関連情報学の学術資源化に関する研究」所内共同研究者／一般共同研究「松尾大社所蔵史料の研究資源化」所内共同研究者／一般共同研究「富山県下（越中国）中近世文書の研究資源化」所内共同研究者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第十一編之三十三の編纂・出版

〔史料採訪〕福岡県・福岡市博物館所蔵史料等の調査・撮影（二三年五月）／福岡県・立花家史料館所蔵史料の調査・撮影（二三年五月）／長野県・真田宝物館所蔵史料等の調査・撮影（二三年六月）／宮崎県・都城島津邸所蔵史料の調査・撮影（二三年七月）／鹿児島県・奄美博物館所蔵史料の調査（二三年八月）／茨城県・個人所蔵史料の調査・撮影（二三年九月）／佐賀県立図書館所蔵史料の調査・撮影（二三年一〇月）／福岡県・天叟寺所蔵史料等の調査・撮影（二三年一〇月）／宮崎県・えびの市歴史民俗資料館寄託史料等の調査（二三年十一月）／香川県・萩原寺文書の調査・撮影（二三年二月）／鹿児島県歴史・美術センター黎明館所蔵史料の調査・撮影（二三年二月）／長崎県・個人所蔵史料の調査・撮影（二四年一月）／宮崎県・個人所蔵史料の調査・撮影（二四年三月）／山口県文書館所蔵史料の調査・撮影（二四年三月）

【所・学内行政】

〔所内〕社会連携・市民講座企画検討小委員会委員／研究企画委員会委員

【学外活動】

〔自治体〕宮崎県都城市・都城島津伝承館審議会委員／宮崎県延岡市・延岡市史編集委員会専門部会（中世部会）委員

〔教育〕神奈川大学非常勤講師

谷本隆之 中世史料部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 中世商人の研究

〔研究報告〕「室町・戦国期京都における座と所有の問題」(室町期研究会、二三年一〇月)／「戦国期京都における商工業者の経営と結合形態」(東京大学中世史研究会、二三年一〇月)

〔科学研究費補助金による研究〕「中世京都における商人の権利と組織」(研究活動スタート支援) 研究代表者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第十一編之三十三の出版

〔史料探訪〕長野県上田市願行寺所蔵、同県長野市信綱寺所蔵、同市真田宝物館所蔵、同県千曲市長野県立歴史博物館所蔵史料の調査・撮影(二三年六月)／東京都あきる野市五日市郷土館所蔵・寄託、広徳寺所蔵、阿伎留神社所蔵史料の調査・撮影(二三年六月)／國學院大學所蔵「久我家文書」の調査・撮影(二三年九・一〇月)／宮城県仙台市個人所蔵、同県登米市所蔵史料の調査・撮影(二三年一〇月)／京都市歴史資料館寄託『岩佐家文書』の調査・撮影(二三年一月、二四年一月)／長崎県対馬市個人所蔵史料の調査・撮影(二四年一月)／『賀茂別雷神社文書』の調査・撮影(二四年三月)

【所・学内行政】

〔所内〕史料探訪委員会委員

小宮木代良 近世史料部門 教授

【研究活動】

研究テーマ 江戸幕府記録類の研究／近世政治史の研究／近世系譜類の研究／近世武家儀礼史料の研究／近世初期大名家臣史料群の研究

〔講演録〕「坊所鍋島家文書を読みなおす―成初期の佐賀藩と江戸幕府―」シンポジウム報告書(二〇二四年三月、佐賀県立図書館刊)

〔シンポジウム報告〕「坊所鍋島家文書研究の意義」(二〇二三年一月一日、於佐賀市)

〔講演〕「書状の距離感」(文京アカデミア、二〇二三年七月八日、於東京都文京区)／「書状の距離感」(秋田スマートカレッジ、二〇二三年一月四日、Zoomによる)

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(C)一般「近世初期大名発給無年号

文書群の研究資源化―佐賀藩家臣坊所鍋島家史料を対象として―」初年度研究代表者

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕特定共同研究近世史料領域「近世大名家臣家史料の「読み直し」と研究資源化」初年度 研究代表者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』十二編―六十四冊の刊行準備

〔史料探訪〕福岡市総合図書館寄託小河資料の調査(二〇二四年二月)

〔教育〕人文社会系研究科演習「近世前期史料演習」を担当

【所・学内行政】

〔所内〕環境安全管理室長

【学外活動】

〔地方史〕佐賀県近世資料編さん委員

及川 亘 近世史料部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 中近世移行期の研究、公儀普請の研究、南都薬師寺の研究

〔論文〕「鍋島勝茂の佐賀藩継承」(佐賀県立図書館編『坊所鍋島家文書を読みなおす―成初期の佐賀藩と江戸幕府―』シンポジウム報告書)、二〇二四年三月

〔口頭発表〕「家康の築城」(文京アカデミア講座、於アカデミー文京)、二〇二三年一〇月・同(中日文化センター史料編纂所協力講座、於柴中日文化センター)、二〇二四年一月／「鍋島勝茂の佐賀藩継承」(シンポジウム「坊所鍋島家文書を読みなおす―成初期の佐賀藩と江戸幕府―」、於ホテルニューオータニ佐賀)、二〇二三年一月／「公儀普請における軍役と夫役」(近世史の会、於立教大学) 二〇二四年二月

〔共同利用共同研究拠点の研究〕特定共同研究「近世大名家臣家史料の『読み直し』と研究資源化」(研究代表者小宮木代良)の所内共同研究者

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(C)「徳川政権による公儀の確立と城郭建設―無年号文書から公儀普請を読み解く―」の研究代表者／基盤研究(C)「近世大名家臣家史料の共同分析―多久家史料の読み直しを中心として―」

〔研究代表者小宮木代良〕の研究分担者

〔所内研究プロジェクト〕地震火山史料プロジェクト

【所内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第十二編之六十四の編纂

〔史料探訪〕奈良県奈良市薬師寺所蔵史料の調査（二〇二三年七月）／熊本大学附属図書館所蔵「松井家文書」の調査（二〇二三年七月）／佐伯市歴史資料館所蔵佐伯藩政史料の調査（二〇二四年一月）／熊本大学附属図書館における地震関係史料（永青文庫史料「安政元・二年機密間日記」等）の調査（二〇二四年二月）／鹿児島大学附属図書館所蔵「肝付家文書」の調査（二〇二四年三月）／山口県文書館における地震関係史料（毛利家文庫「浦鞆負日記」等）の調査・撮影（二〇二三年四月）

〔所内行政〕社会連携・市民講座企画検討小委員会委員／デジタル撮影等に關する課題検討グループ

【学内活動】

〔教育〕教養学部学術フロンティア講義「歴史資料と地震・火山噴火」

〔共同研究〕東京大学地震火山史料連携研究機構スタッフ（兼任）

〔学内行政〕全学ハラスメント防止委員会委員／東京大学地震火山史料連携研究機構運営委員会委員

【学外活動】

〔教育〕法政大学大学院人文科学研究科・同文学部兼任講師

石津裕之 近世史料部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 近世の神社・門跡・朝廷に関する研究

〔単著〕『近世の神社・門跡と朝廷』吉川弘文館、二〇二四年三月

〔小論〕「近世の相論」（賀茂別雷神社史料編纂会企画・編『賀茂別雷神社史料4 氏人相論』山代印刷株式会社出版部、二〇二三年五月）／書評 間瀬久美子著『近世朝廷の権威と神社・民衆』（『史学雑誌』一三三・一六、二〇二三年六月）／「大火と都市京都の変貌」（五島邦治編著『はじめて学ぶ芸術の教科書 京都の歴史』京都芸術大学・東北芸術工科大学出版局藝術学舎、

二〇二四年一月）／「近世中後期における文化・社会の変動」（同上書）

〔史料校訂〕賀茂別雷神社史料編纂会企画・編『賀茂別雷神社史料4 氏人相論』山代印刷株式会社出版部、二〇二三年五月）

〔口頭報告〕「宮門跡の肝煎に関する一考察―靈元く桜町天皇期を対象として―」（第七三回仏教史学会学術大会、二〇二三年一月一日、於佛敎大学）

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(A)「神社所蔵文書・社家文書の一体把握による中近世賀茂別雷神社の総合的研究」（研究代表者金子拓）の研究分担者／基盤研究(C)「近世初期大名発給無年号文書群の研究資源化―佐賀藩家臣坊所鍋島家史料を対象として―」（研究代表者小宮木代良）の研究分担者／基盤研究(C)「中近世移行期の門跡に関する史料学的研究」（研究代表者鶴見大学近藤祐介）の研究分担者

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕特定共同研究・中世史料領域「賀茂別雷神社文書・社家文書の調査・研究」（研究代表者金子拓）の所内共同研究者／特定共同研究・近世史料領域「近世大名家臣家史料の「読み直し」と研究資源化」（研究代表者小宮木代良）の所内共同研究者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第十二編之六十四の編纂・出版／『賀茂別雷神社史料4 氏人相論』

〔史料探訪〕賀茂別雷神社史料の調査・撮影（二〇二三年六月・二〇二四年三月）／國學院大學所蔵「久我家文書」の調査・撮影（二〇二三年一月〜二〇二四年三月）／福岡市総合図書館寄託「小河資料」の調査（二〇二四年二月）

【所・学内行政】

〔所内〕研究企画委員会委員／共同利用・共同研究拠点小委員会委員

【学外活動】

〔教育〕中央大学文学部兼任講師／早稲田大学法学部非常勤講師／学習院大学非常勤講師

〔史料編纂〕賀茂別雷神社史料編纂会編纂委員／本興寺史料監修

山口和夫 近世史料部門 教授

【研究活動】

研究テーマ 近世日本史料の研究／近世天皇・院・朝廷と將軍権力の政治史の研究／洛中洛外凶屏風の研究／日本史学史

〔共編〕名古屋博物館編『豊臣秀吉文書集』九卷（総目録・索引）の編集・出版（吉川弘文館、二〇二四年三月）

〔論文〕「豊臣政権と朝廷」（橋本政宣編『後陽成天皇』宮帯出版社、二〇二四年一月）

【研究事業・所内業務】

〔史料編纂〕『大日本近世史料 細川家史料』二十九編纂準備（二〇二四年度出版計画）

〔史料探訪〕泉涌寺史料の調査・撮影（二〇二三年九月）／熊本大学附属図書館寄託「細川家史料」の調査・撮影（二〇二四年二月二十九日―三月一日）

〔画像史料解析センタープロジェクト〕「近世都市図解析プロジェクト」代表〔共同利用・共同研究拠点による研究〕一般共同研究「泉涌寺所蔵の近世後期史料に関する基礎的研究」所内共同研究者

〔所内行政〕近世史料部門代表、予算委員会委員長、研究者集会世話人、所史資料ワーキンググループ、東京大学本郷事業場過半数代表選出のための部局選挙管理委員会委員長

【学外活動】

〔他機関からの委嘱〕名古屋博物館『豊臣秀吉文書集』編集委員／福井県越前市教育委員会三田村家・大瀧神社歴史資料調査委員

林 晃弘 近世史料部門 准教授／地震火山史料連携研究機構（兼任）

【研究活動】

研究テーマ 近世前期政治史の研究

〔論文〕「近江国高島郡阿弥陀寺の例外的な朱印改め」（『佛教史学研究』六四卷二号、二三年七月）／「近世的な政教関係の形成」（上野大輔・小林准士編『日本近世史を見通す6宗教・思想・文化』吉川弘文館、二三年一〇月）／「近世前期における熊本藩の真宗統制」（『古文書研究』九六号、二三年一月）

〔史料紹介・小文等〕「書評 北陸中世近世移行期研究会編『地域統合の多様と複合』」（『日本史研究』七二八号、一三年四月）／「花伝書抜書」紙背文書

の古田重然自筆書状」（『季刊永青文庫』一二〇号、二三年五月）／「曹洞宗可睡斎派寺院宛の徳川家康文書―西尾市岩瀬文庫所蔵『御朱印写』所収文書の紹介―」（『織豊期研究』二五号、二三年一〇月）

〔口頭報告〕「細川忠利の『公儀御書案文』と近世政治史研究」（シンポジウム「近世初期における『御国』と『公儀』―永青文庫細川家文書から―」二三年九月一六日、於熊本大学工学部百周年記念館）／「池田冠山書状をよむ―西教寺文書にみる江戸の文人世界―」（公開講演会「近世寺院史料の世界―涅槃山西教寺と慧海潮音―」二四年三月六日、於東京大学仏教青年会ホール）

〔科学研究費補助金による研究〕若手研究「日本近世における政教関係の形成と確立」（研究代表者）／基盤研究(A)「コンテキストに応じた人文科学データパッケージ化に関する研究」（研究代表者山家浩樹）研究分担者／基盤研究(B)「日本近世史料学の再構築―基幹史料集の多角的利用環境形成と社会連携を通じて」（研究代表者杉本史子）研究分担者／基盤研究(B)「撰閲家伝来大規模史料群の目録精緻化による構造の解明と研究資源化」（研究代表者尾上陽介）研究分担者／基盤研究(C)「寺院史料の調査と個別的動向の解明に立脚した近世宗教政策像の更新」（研究代表者朴澤直秀）研究分担者

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕特定共同研究「賀茂別雷神社文書・社家文書の調査・研究」所内共同研究者／一般共同研究「未撮影史料を中心とする陽明文庫の調査・研究」所内共同研究者／一般共同研究「泉涌寺所蔵の近世後期史料に関する基礎的研究」所内共同研究者／一般共同研究「涅槃山西教寺所蔵史料の研究資源化」所内共同研究者／一般共同研究「富山県下（越中国）中近世文書の研究資源化」所内共同研究者

〔所・学内業務〕

〔史料編纂〕『大日本近世史料 細川家史料』二十九の編纂

〔史料探訪〕東京都文京区西教寺史料の調査・撮影（二三年四月―二四年二月）／京都市陽明文庫史料の調査（二三年五月・六月・八月・九月・一〇月、二四年一月・三月）／富山県黒部市宮崎文庫記念館所蔵史料の調査・撮影（二三年六月・一〇月）／滋賀県米原市成菩提院史料の調査（二三年七月・二月）

／奈良市薬師寺所蔵史料の調査・撮影（二三年七月）／愛知県西尾市岩瀬文庫所蔵史料の調査（二三年八月）／京都市泉涌寺所蔵史料の調査・撮影（二

三年八月・一二月)／富山県射水市新湊博物館所蔵史料の調査・撮影(二三年一〇月)／京都市仁和寺史料(御経蔵)の調査・撮影(二三年一月)／熊本市熊本博物館所蔵史料の調査(二三年一月)／鹿児島市鹿児島歴史・美術センター黎明館所蔵・寄託犬追物関係史料の調査・撮影(二三年一月)／山口県文書館所蔵史料の調査(二四年二月)／熊本大学附属図書館寄託永青文庫資料の調査・撮影(二四年二月)／山口県文書館所蔵「浦日記」の調査・撮影(二四年三月)

〔所内プロジェクト〕歴史地震史料プロジェクト／画像史料解析センター「犬追物関係資料研究プロジェクト」

〔その他〕史料編纂所二〇二四カレンダーの作成

〔所内行政〕

広報委員／史料図書選定委員会委員／将来構想検討小委員会委員

〔学外活動〕

〔教育〕慶應義塾大学非常勤講師

〔社会教育〕「徳川家康の寺社政策」(文京アカデミア講座「史料から読み解く徳川家康」第四回、二三年一〇月二八日)／栄中日文化センター講座「史料から読み解く徳川家康」第三回、二三年二月二日)

鶴田 啓 近世史料部門 教授

〔研究活動〕

研究テーマ 近世対外関係の研究

〔口頭報告〕「市中取締類集」放刑評議之部」その他」(所内研究発表会、二〇二四年三月二五日)。

〔科学研究費等による研究〕科学研究費基盤(B)日本近世史料学の再構築―基幹史料集の多角的利用環境形成と社会連携を通じて―(研究代表者・杉本史子)、研究分担者。

〔所内プロジェクト〕摺物データベースグループ、錦絵データベースグループ。

〔所・学内業務〕

〔史料編纂〕『市中取締類集』の研究と編纂。

〔授業〕(大学院人文社会学系研究科・文学部)文化資源学特殊講義、S1S2

チーム。

〔所・学内行政〕

〔所内委員会等〕東アジア史料研究編纂機関国際学術会議準備小委員会(東アジア小委員会) 委員(副委員長)。

杉森玲子 近世史料部門 教授／地震火山史料連携研究機構(兼任)

〔研究活動〕

研究テーマ 近世都市社会の研究／地震・火山史料の研究

〔論文〕「史料からみた北海道駒ヶ岳一六四〇年噴火」(前野深と共著)『火山』六八―二(二〇二三年六月)／Damage by the 1855 Edo Earthquake and Response to the Disaster—Study Based on Edo Ohjishin no Zu (Picture Scroll of the 1855 Edo Earthquake)—Journal of Disaster Research 19 (1) (二〇二四年二月)

〔口頭報告〕「関東大震災と東京大学所蔵史料」第四〇回歴史地震研究会(二〇二三年九月一―三日、小田原三の丸ホール)

〔ポスター発表〕「近代以前の地震・火山災害に関する多角的研究」地震・火山噴火予知研究協議会令和五年度「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画(第二次)」成果報告シンポジウム(二〇二四年三月一四日、東京大学弥生講堂(一条ホール))

〔所内プロジェクト〕地震火山史料プロジェクト

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕史料編纂所・一般共同研究「佐伯藩御用日記」を用いた地震活動の分析」地震研究所・特定共同研究(B)「地震史料テキストデータの多角的な活用による歴史災害研究の深化」

〔所・学内業務〕

〔史料編纂〕『大日本近世史料 市中取締類集 三十三』の編纂

〔東京大学地震研究所との共同研究〕「文献史料による歴史地震に関する情報の収集とデータベースの構築・公開」(東京大学史料編纂所)／「歴史地震火山活動データベース構築・分析」(東京大学地震火山史料連携研究機構)／「近代以前の地震・火山災害に関する多角的な研究」(東京大学史料編纂所)

〔史料採訪〕宇和島伊達文化保存会所蔵「宇和島伊達家文書」「桜田家文書」

の調査（二〇二三年一月）／熊本大学附属図書館寄託永青文庫史料・熊本大学保管「古閑家文書」の調査（二〇二四年二月）／鹿児島大学附属図書館所蔵「肝付家文書」の調査（二〇二四年三月）／山口県文書館所蔵「浦日記」
〔井原日記〕の調査・撮影（二〇二四年三月）

〔教育〕教養学部・学術フロンティア講義「歴史資料と地震・火山噴火」（夏学期）／教養学部・高校生と大学生のための金曜特別講座（二〇二三年六月二日）／大学院・エグゼクティブ・プログラム二七（二〇二四年一月二日）

【所・学内行政】

〔学内〕総長補佐／地震火山史料連携研究機構運営委員会委員／地震火山噴火予知研究協議会委員／同予算委員会委員

【学外活動】

〔学会活動〕日本歴史学会評議員

〔学外委員〕文化庁文化審議会文化財分科会第一専門調査会専門委員・長野県文化財保護審議会委員

〔教育〕慶應義塾大学文学部非常勤講師（春学期・秋学期）

小林優里 近世史料部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 近世学問・文化史の研究

〔書評〕書評 大沼宜規著「考証の世紀―十九世紀日本の国学考証派―」（『史学雑誌』一三三―一、二〇二三年一月）

〔口頭報告〕「近世後期における「考証」「好古」の流行とその影響―幕府関係者と寺社の関わりを中心に―」（史料編纂所第二九一回研究発表会、オンライン、二〇二三年六月）／「近世後期の神社における縁起・神社誌の作成」（中近世宗教史研究会三月例会、東京大学史料編纂所、二〇二四年三月）

〔所内プロジェクト〕歴史地震史料プロジェクト

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本近世史料 市中取締類集 三十三』の編纂

〔史料探訪〕東京都文京区西教寺所蔵史料の調査・撮影（二〇二三年五月）
二〇二四年二月）／山口県文書館所蔵毛利家文庫の調査・撮影（二〇二三年

九月・二〇二四年三月）／宇和島伊達文化保存会所蔵宇和島伊達家文書・桜田家文書の調査（二〇二三年一月）／國學院大學図書館所蔵久我家文書の調査・撮影（二〇二三年一月・二〇二四年一月）／熊本大学附属図書館寄託永青文庫資料・熊本大学保管古閑家文書の調査（二〇二四年二月）／鹿児島大学附属図書館所蔵肝付家文書の調査（二〇二四年三月）

【所・学内行政】

〔所内〕所報・紀要委員会委員

【学外活動】

〔自治体史編纂〕世田谷区近世史編さん委員会臨時委員

〔学会活動〕歴史学研究会日本近世史部会運営委員（二〇二三年度大会近世史部会運営委員長）

松澤克行 近世史料部門 教授

【研究活動】

研究テーマ 近世の公家社会と文化に関する研究／近世史料の研究

〔史料紹介〕「陽明文庫所蔵「近衛信尋書状并後水尾天皇勸返」―島津氏関係史料の紹介―」（『東京大学史料編纂所研究紀要』第三十四号、令和六年三月）

〔講演録〕「江戸時代の公家と武家」（一般社団法人霞会館編『講演集』第四十六集、一般社団法人霞会館、令和六年三月）

〔講演〕「江戸時代の公家と武家」（令和五年四月二二日、於霞会館京都支所）

〔科学研究費補助金による研究〕「近世書状史料群の研究と歴史情報資源化」（基盤研究(B)、第二年度）の研究代表者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本近世史料 広橋兼胤公武御用日記』十五の出版／『大日本古文書 家わけ第十六 島津家文書之八』の出版準備

〔史料探訪〕京都大学附属図書館所蔵「広橋兼胤東行記」の調査（京都市、一月二八日～二九日）／五條家所蔵史料の調査（長岡京市、令和六年二月一九日）／公益財団法人陽明文庫所蔵「近衛文書」の調査・撮影（京都市、令和六年三月二二日～二四日）

〔所内プロジェクト〕画像史料解析センター「歴史絵引データベース・肖像画

模本データベース構築プロジェクト」メンバー／画像史料解析センター「電子くずし字字典データベース開発プロジェクト」メンバー／「原本史料情報解析」の方法による南九州関係文書の保全と研究プロジェクト」メンバー

【所・学内行政】

〔所内行政〕 研究企画委員会副委員長／共同利用・共同研究拠点小委員会委員長／財務企画小委員会委員／前近代日本史情報国際センター運営委員会委員
〔学内行政〕 ハラスメント予防担当者

【学外活動】

〔学会活動〕 日本歴史学会理事・同評議員・『日本歴史』編集委員／歴史人類学会評議員／筑波大学日本史談話会評議員
〔教育〕 中学校社会科教科書『新しい社会』編集委員（東京書籍株式会社）
〔文化財行政〕 つくばみらい市文化財保護審議会委員
〔社会教育〕 公益財団法人徳川記念財団非常勤研究員（古文書講座講師）

山本一夫 近世史料部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 近世米穀流通史の研究
〔論文〕 「中津藩の米会所・米切符と地域経済」〔『日本歴史』九〇七、二〇二三年一月〕
〔科学研究費補助金による研究〕 基盤研究(B)「近世書状史料群の研究と歴史情報資源化」(研究代表者松澤克行) 研究分担者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕 『大日本古文書 家わけ第十六 島津家文書之八』の出版準備
〔史料探訪〕 都城島津邸所蔵史料の調査・撮影(二〇二三年七月)／公益財団法人陽明文庫所蔵「近衛文書」の調査・撮影(二〇二四年三月)
【所・学内行政】
所報紀要委員会委員

【学外活動】

〔学会活動〕 歴史学研究会日本近世史部会運営委員(二〇二三年五月)／歴史学研究会委員(二〇二三年六月)

杉本史子 近世史料部門 教授

【研究活動】

研究テーマ 近世国家・社会の研究、絵図史料論
〔研究報告〕 「近世日本の「複合的構成」と公のゆくえ」、『紛争と秩序』研究会、二〇二三年八月三十一日 オンライン／「近世日本の「複合的構成」と公のゆくえ」、東京大学史料編纂所第二九二回研究発表会 二〇二四年三月二十五日 ハイブリッド・東京大学福武ホールB1大会議室
〔科学研究費補助金等〕 基盤研究(B)「日本近世史料学の再構築―基幹史料集の多角的利用環境形成と社会連携を通じて」(課題番号：二二H〇〇六九二)の研究代表者／基盤研究(B)「南西諸島における海上交通の復元的研究―「帆船の時代」の「歴史航海図」―」(課題領域番号：一八H〇〇六九八、研究代表者：東京大学史料編纂所准教授黒嶋敏、二〇一八～二〇二二年度)の研究分担者／基盤研究(C)「中近世日本の法的世界を問い直す―裁判史・政治史・経済史の対話」(課題領域番号：二二K〇一一二〇、研究代表者：松園潤一郎、二〇二二―二〇二四年度)の研究分担者

〔所内プロジェクト等〕 維新史料研究国際ハブ拠点形成プロジェクト

【所内業務】
〔史料編纂〕 『大日本維新史料 類纂之部 松平昭休往復書翰留 一』出版、近世史編纂支援データベースのデータ拡充・整備
〔史料探訪〕 岡山大学池田家文庫・岡山県立記録資料館調査(二〇二三年一月二日・三日)

【学外活動】
〔研究員等〕 東洋文庫兼任研究員
〔委員会等〕 文化庁文化審議会専門委員(文化財分科会)、小田原市城跡調査・整備委員会委員

菊地智博 近世史料部門 助教

【研究活動】
研究テーマ 幕末維新期の軍制改革の研究
〔報告〕 「幕府軍制改革における工業化と軍事官僚―鉄砲玉葉奉行とその改革

を中心に―」歴史学研究会日本近世史部会例会(二〇二四年一月)

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(B)「日本近世史科学の再構築」(課題番号:二二五〇〇六九二、研究代表者:杉本史子) 研究分担者

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕一般共同研究「史料編纂所所蔵」熊本藩京都留守居上田久兵衛関係資料」の研究資源化」所内共同研究者

〔所内研究プロジェクト〕維新史料研究国際ハブ拠点形成プロジェクト

【所内業務】

〔史料編纂〕「大日本維新史料 類纂之部 松平昭休往復書翰留」一 出版／近世史編纂支援データベース「大日本維新史料 類纂之部 井伊家史料」索引型データの拡充

〔史料探訪〕岡山大学附属図書館池田家文庫および鳥取県立博物館所蔵史料の調査・撮影(二〇二三年一〇月二日～五日)／北海道立文書館所蔵北海道庁旧蔵和書および箱館奉行所文書の調査(二〇二三年一月七日～八日)／茨城県立歴史館所蔵水戸藩関係史料の調査(二〇二四年一月一〇日)

【所内行政】

所報・紀要委員

【学外活動】

〔社会教育〕凸版印刷株式会社情報コミュニケーション事業本部 古文書解説プロジェクト 講師・アドバイザー

箱石 大 近世史料部門 教授

【研究活動】

研究テーマ 幕末維新政治史の研究／幕末維新史料の研究／幕末維新史料編纂事業史の研究

〔成果紹介〕「山口県文書館所蔵の長州藩版板木・木活字」(『東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信』第一〇三号、二〇二四年一月)

〔科学研究費等による研究〕基盤研究(B)「維新政府による朝廷・幕府・諸藩を源流とした文書行政の解明と関連史料群の学術資源化」・鹿島学術振興財

団一般研究助成「明治太政官政府主要人物文書群の保存・利活用に資する研究基盤の構築」の研究代表者／基盤研究(A)「在外日本関係史料の調査と貴重

史料の研究資源化による維新史料研究国際ハブ拠点の形成」(研究代表者:保谷徹)・基盤研究(B)「維新政権期の木版刊行物に関する学際的研究およびオープンサイエンスの推進」(研究代表者:藤實久美子、国文学研究資料館教授)・基盤研究(B)「日本近世史科学の再構築―基幹史料集の多角的利用環境形成と社会連携を通じて」(研究代表者:杉本史子)・基盤研究(B)「幕末明治期古写真の調査とその解析・復元・保全を総合的に捉える写真史料学の構築」(研究代表者:谷昭佳)・基盤研究(C)「高精度デジタル画像解析による幕末明治初期ガラス原板写真の史料学研究」(研究代表者:谷昭佳)の研究分担者／基盤研究(B)「地域における歴史意識の形成過程に関する研究―由緒関係文書の原本調査を踏まえて」(研究代表者:坂田聡、中央大学教授)の研究協力者

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕一般共同研究「史料編纂所所蔵」熊本藩京都留守居上田久兵衛関係資料」の研究資源化」の所内共同研究者

〔所内研究プロジェクト等〕画像史料解析センター・戊辰戦争期摺物画像研究プロジェクト・古写真研究プロジェクト／古写真データベース／維新史料研究国際ハブ拠点形成プロジェクト

【所・学内業務】

〔史料編纂〕「大日本維新史料 類纂之部 松平昭休往復書翰留 一」の出版

〔史料探訪〕京都市歴史資料館所蔵岩倉具視関係資料の撮影立会(二〇二三年六月二七日)／福島県立博物館寄託史料の調査(二〇二三年七月一日～二日)／海の見える杜美術館所蔵岩倉具視関係史料の調査・撮影(二〇二三年七月一日～三日)／岩手県所在古写真関係史料の調査・撮影(二〇二三年八月二九日～九月一日)／岡山大学附属図書館池田家文庫及び鳥取県立博物館所蔵史料の調査・撮影(二〇二三年一〇月二日～五日)／鹿児島県所在古写真コレクションの調査打ち合わせ(二〇二三年一〇月二日～三日)

／鹿児島県所在古写真コレクションの調査・撮影(二〇二三年十一月二六日～二九日)／海の見える杜美術館所蔵岩倉具視関係史料の調査・撮影(二〇二三年十二月七日～九日)／山口県文書館所蔵長州藩版板木・木活字及び関連史料の調査(二〇二四年三月三日～四日)

【所・学内行政】

〔所内〕技術部運営委員会委員（委員長）／東アジア史料研究編纂機関国際学術会議準備小委員会委員（委員長）／防災委員会委員／所史資料調査ワーキンググループ

【学外活動】

〔教育〕國學院大學大学院文学研究科兼任講師（日本近現代史特論A1（講義・前期））

〔文化財行政・調査〕文化庁文化審議会専門委員（文化財分科会）／久喜市文化財保護審議委員（埼玉県）／三田村家・大瀧神社歴史資料調査委員（福井県越前市）

〔学会活動〕日本歴史学会評議員／国史学会評議員

小野 将 近世史料部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 近世・幕末維新期の政治・文化・思想史

〔編著〕『日本近世史を見通す 3 体制危機の到来』（荒木裕行・小野将編、吉川弘文館、二〇二四年一月）

〔論文〕「幕末の日本、一九世紀の世界」（『日本近世史を見通す 3 体制危機の到来』、吉川弘文館、二〇二四年一月）

〔小文〕「日本近世史を見通したい！」（『本郷』一六八、一一月）

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(A) 在外日本関係史料の調査と貴重史料の研究資源化による維新史料研究国際ハブ拠点の形成（研究代表者保谷徹名誉教授）研究分担者／基盤研究(B) 幕末外交と贈答美術品―遺米・遣欧使節団の贈品を中心に（研究代表者国立歴史民俗博物館教授日高薫）研究分担者

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕一般共同研究「幕末期幕府外交の研究」と関連史料の資源化（研究代表者国立歴史民俗博物館准教授福岡万里子）所内共同研究者

〔国際研究集会〕維新史料研究国際ハブ拠点形成プロジェクト「維新史料研究」と国際発信（一一二月、共催：史料編纂所、JSPS人文科学・社会科学データベースラストラクター強化事業、科学研究費補助金基盤研究(A)「在外日本関係史料の調査と貴重史料の研究資源化による維新史料研究国際ハブ拠

点の形成」、同基盤研究(B)「日本近世史科学の再構築―基幹史料集の多角的利用環境形成と社会連携を通じて」

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本古文書 幕末外国関係文書』巻之五十五の編纂

〔所内プロジェクト等〕維新史料研究国際ハブ拠点形成プロジェクト担当／「維新史料網要データベース」担当

〔史料探訪〕山口県文書館所蔵毛利家文庫史料の調査・原本校正（二〇二四年三月）

〔教育〕大学院人文社会学系研究科（日本史学演習担当）

【学内行政】

〔学内〕人文社会学系研究科委員会委員／総合研究博物館協議会委員

【学外活動】

〔委員委嘱〕日本学士院国際学士院連合関係事業特別委員会委員

〔共同研究〕人間文化研究機構基幹研究プロジェクト連携研究員・国立歴史民俗博物館共同研究員／早稲田大学ナショナルリズム・エスニシティ研究所招聘研究員

水上たかね 近世史料部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 幕末維新期の軍事と中央政権・武士身分に関する研究

〔史料紹介〕水上たかね・山本瑞穂・横山伊徳「オランダ国立文書館所蔵「横浜（総）領事館文書」一八六〇年往復文書目録」（『東京大学史料編纂所研究紀要』三四号、二〇二四年三月）

〔口頭報告〕「De studenten van het Tokugawa-shogunat en Johann Joseph Hoffmann (1805-1878)」邦題「幕府オランダ留学生とライデン大学教授ホフマン」(① Vergadering van het Nederlands Genootschap voor Japanse Studien (オランダ日本学会)、ライデン大学 (オランダ)、二〇二三年六月一日) ② Workshop "Towards a New Phase of Historical Climatology: Dutch Navy Logbooks and Climatological Information"、ライデン大学、二〇二三年八月二十九日) ③ 渋谷綾子・中村寛・水上たかね・平澤加奈子「日本史史料の科学研究：オープンサイエンスと国際化の推進に向けて」(第三

三回日本資料専門家欧州協会年次大会、ルーヴェン・カトリック大学（ベルギー）、二〇二三年九月一五日）／④「戊辰戦争の一史料を読む―東京大学史料編纂所の事業紹介を兼ねて―」（ルーヴェン・カトリック大学、二〇二四年三月四日）

〔各種研究助成による研究〕令和元年度若手研究者自立支援制度（東京大学卓越研究員）「軍事を視角とした幕末維新时期日本の国家体制変革過程に関する研究」／科学研究費助成事業・科学研究費補助金・基盤研究(A)「在外日本関係史料の調査と貴重史料の研究資源化による維新史料研究国際ハブ拠点の形成」〔研究代表者・保谷徹〕研究分担者／同基盤研究(B)「維新政府による朝廷・幕府・諸藩を源流とした文書行政の解明と関連史料群の学術資源化」〔研究代表者・箱石大〕研究分担者

【所内業務】

〔史料編纂〕『大日本古文書 幕末外国関係文書之五十五』の編纂
〔データベース〕「近世史編纂支援データベース」への「幕末外国関係文書」五四巻の「目録型」データ計一八三件の追加・公開（立石了氏と共同）／田Labでの「オランダ国立文書館所蔵幕末・明治期日蘭関係史料目録データベース」〔提供者：Herman J. Moeshart氏〕公開協力
〔所内研究プロジェクト〕「維新史料研究国際ハブ拠点形成プロジェクト」メンバー

〔国内出張〕海の見える杜美術館所蔵岩倉具視関係史料の調査・撮影（二〇二三年一月六日～九日）

〔海外出張〕第三三回日本資料専門家欧州協会年次大会への参加（ルーヴェン・カトリック大学（ベルギー）、二〇二三年九月二日～一七日）／ベルギー外務省外交資料館（在ブリュッセル）における幕末維新时期日白関係史料の調査（二〇二三年一月一日～二日）／オランダ・ベルギー所在幕末維新时期日本関係史料の調査および現地研究者との研究交流・プロジェクト打ち合わせおよび講演の実施（ライデン大学、Ergoed Leiden en Omstreken、Rozet、国立文書館（以上オランダ）、王立軍事歴史博物館、外務省外交資料館、ルーヴェン・カトリック大学（以上ベルギー）、二〇二四年二月二八日～三月八日）

【所・学内行政】

〔所内〕外部評価実施小委員会委員（二〇二四年二月）

【研修】

〔在外研修〕ライデン大学地域研究所Leiden University Institute for Area Studies客員研究員（オランダ、二〇二二年一月二日～二〇二三年一月三日）
一日、受入研究者：Ivo Smits教授、研究課題：The role of the Netherlands in reforming the government system in Japan from the end of the Edo period through the Meiji Restoration（幕末維新时期日本の統治機構改革におけるオランダの役割）

立石了 近世史料部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 近世大名家臣団の研究

〔科学研究費による研究〕基盤研究(B)「日本近世史料学の再構築―基幹史料集の多角的利用環境形成と社会連携を通じて―研究分担者」

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕一般共同研究「幕末期幕府外交の研究」と関連資料の資源化

【所内業務】

〔史料編纂〕『大日本古文書 幕末外国関係文書』巻之五十五の編纂
〔所内プロジェクト〕「維新史料研究国際ハブ拠点形成プロジェクト」メンバー
〔史料採訪・調査〕海の見える杜美術館所蔵岩倉具視関係史料の調査・撮影（二〇二三年七月一日～一四日・二〇二四年一月二日・二〇二四年一月五日・同二日・三月六日・同二七日）、熊本大学寄託永青文庫資料の調査・撮影（二〇二四年二月二八日～三月一日）、山口県文書館所蔵毛利家文庫史料の調査・原本校正（二〇二四年三月二日～一四日）

【所内行政】

画像史料解析センター運営委員会委員、所報・紀要委員会幹事、社会連携・市民講座企画検討小委員会委員、東アジア史料編纂機関国際学術会議準備小委員会委員

高橋慎一郎 古文書・古記録部門／画像史料解析センター 教授

【研究活動】

〔研究テーマ〕 中世の都市と寺院に関する研究

〔論文〕 「將軍宗尊親王の女房」(伴瀨明美他編『東アジアの後宮』勉誠社、二〇二三年六月)／「大江広元の事績」(『西村山地域史の研究』四一号、二〇二三年一〇月)／「醍醐山十景」と深草元政」(『東京大学史料編纂所研究紀要』三四号、二〇二四年三月)

〔講演・報告〕 「日本中世の夜警をめぐって」(第一二回権塾、二〇二三年五月)／「武士の都鎌倉の歴史」(神奈川県保険医協会横須賀支部総会、二〇二三年六月)／「幻想の都 鎌倉」を守り伝える」(鎌倉三日会新年会講演、二〇二四年一月)／「日本中世の夜警をめぐって」(比較都市史研究会第四八〇回例会、二〇二四年三月)

〔新刊紹介〕 文献案内「渡邊浩貴「近世村落の湧水紛争と水資源開発―近江国甲賀郡柏木御厨故地の水論絵図から―」」、二〇二三年四月)

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕 一般共同研究「高野山子院伝来資料の分野横断的研究―金剛三昧院・西南院を中心に―」共同研究者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕 『大日本古文書 醍醐寺文書之十八』の編纂

〔史料探訪〕 醍醐寺文書の原本校正(二〇二三年七月)／醍醐寺所蔵史料の調査・撮影(二〇二三年八月)／西大寺文書の調査(二〇二三年一〇月)／東大寺文書の原本校正(二〇二四年二月)／醍醐寺文書の原本校正(二〇二四年三月)／鹿児島県尚古集成館所蔵犬追物関係資料の調査(二〇二四年三月)

〔プロジェクト研究〕 「荘園絵図聚影」釈文編・中世出版プロジェクト／金石文拓本史料の整理と公開プロジェクト／犬追物関係資料研究プロジェクト

〔教育〕 大学院人文社会科学系研究科非常勤講師

【所・学内行政】

〔所内〕 画像史料解析センター長／画像史料解析センター運営委員会委員／前近代日本史情報国際センター運営委員会委員／研究企画委員会委員／予算委員会委員／財務企画小委員会委員

【学外活動】

〔学外活動〕 都市史学会常任委員・編集委員長・企画委員／中世学研究会世話人／日本歴史学会評議員

〔文化財行政〕 文化庁文化財部調査員／鎌倉市文化財専門委員会会長／鎌倉市史跡等整備アドバイザー会議委員／鎌倉市にふさわしい博物館基本計画等策定委員会委員長

〔教科書執筆〕 東京書籍令和七年版中学校社会科教科書「新しい社会」編集委員

〔教育〕 大東文化大学文学部非常勤講師

遠藤基郎 古文書・古記録部門 教授(情報学環流動教員)

【研究活動】

研究テーマ 中世前期公家政権の政治史。東大寺史料の史料学的研究。

〔論文〕 「古代中世東大寺文書の近世近代目録を読み直す」(森哲也編『東大寺文書の近世・近代』東京大学史料編纂所研究成果報告二〇二一―四、二〇二四年三月)／「新修東大寺文書聖教の「見取り図」試論」(享保五年七月武家・公家東大寺文書文書目録とその関連文書)(吉川聡編集『東大寺図書館所蔵新修東大寺文書聖教調査報告書 第七八函(第一一〇〇函)』SPS18H00717報告書、二〇二四年三月)

〔小文〕 「後三条天皇」「白河天皇」(樋口健太郎・栗山圭子編『平安時代天皇列伝』戎光祥出版、一一月)／「中世日本の情報伝達媒体としての「折紙」」(『東京大学大学院情報学環紀要 情報学研究』一〇六、二〇二四年三月)

〔史料集〕 『東寺執行日記』第二冊刊行(思文閣出版、二〇二四年二月)

〔学会報告など〕 遠藤基郎「中世寺社」「記録」「日記」を考える―中世後期の東大寺の場合」(基盤研究(A)「日本中近世寺社」(記録)論の構築」第二回公開研究会、五月、於東京大学史料編纂所、オンライン併用)

〔科学研究費補助金による研究〕 基盤研究(B)東大寺を中心とする南都の未整理文書聖教の復原的調査研究(代表奈良文化財研究所吉川聡)

【所・学内業務】

〔史料編纂〕 『大日本古文書家わけ第十八 東大寺文書之二五』の刊行(九月)、同二六の編纂

〔史料探訪など〕賀茂別雷神社文書の撮影（六月）／春日大社所蔵記録の調査・撮影（九月）／東寺百合文書の調査（一〇月）（以下「調査」省略）／東大寺記録・文書（二〇二四年二月）／醍醐寺文書（二〇二四年三月）

〔データベース〕日本古文書ユニオンカタログ／古文書フルテキスト／鎌倉遺文フルテキスト／平安遺文フルテキスト／On-line Glossary of Japanese Historical Terms

〔共同利用・共同研究拠点による研究（特定研究）〕小川八幡神社大般若経の文化資源化研究／（特定研究）賀茂別雷神社文書の調査・研究／（一般研究）日本史用語グロッサリーの再構築にむけて

【学内教育】文化・人間情報学特論（大学院情報学環）

【学外活動】

〔史料調査〕東大寺貴重書調査メンバー

〔学会活動〕日本歴史学会評議員

〔教育等〕東洋大学文学部非常勤講師（日本史料演習）／中央大学文学部非常勤講師（古文書学）／中学校社会科教科書（歴史）（教育出版社）執筆担当

小瀬玄士 古文書・古記録部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 中世武家社会の研究

〔編著〕小瀬玄士・畑山周平・村井祐樹編『島津家文書』御文書』外中世文書集』（東京大学史料編纂所研究成果報告二〇二三年一六、二〇二四年三月）

〔講演〕「書く武士」（二〇二三年六月／二〇二三年九月、二〇二三年度前期文京アカデミア講座、二〇二三年度あきたスマートカレッジ）

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(A)「コンテキストに応じた人文科学データベース化に関する研究」（代表山家浩樹）研究分担者／基盤研究(B)「原本史料情報解析」の方法による中世西国武家文書の研究と展開」（代表本郷恵子）研究分担者

【所内業務】

〔史料編纂〕『大日本古文書』家わけ第十七 大徳寺文書別集徳禪寺文書之三

の編纂

〔史料探訪〕福岡県太宰府市九州国立博物館所蔵史料・柳川市柳川古文書館寄託大友家文書の調査・撮影（二三年五月）／徳禪寺文書の原本校正（二三年六月）／京都府京都市醍醐寺文書の原本校正（二三年七月）／奈良県奈良市薬師寺所蔵史料の調査・撮影（二三年七月）／京都府京都市仁和寺所蔵史料の調査（二三年七月）／京都府京都市京都大学寄託勸修寺文書の調査（二三年八月）／大阪府箕面市勝尾寺文書の調査・撮影（二三年九月）／大阪府堺市堺市博物館所蔵・寄託史料及び大阪市大阪歴史博物館所蔵文書の調査・撮影（二三年一〇月）／佐賀県佐賀市佐賀県立図書館所蔵文書の調査・撮影（二三年一〇月）／奈良県奈良市西大寺所蔵西大寺文書の原本校正（二三年一〇月）

／徳禪寺文書の原本校正（二三年一二月）／鹿兒島県鹿兒島市鹿兒島歴史・美術センター黎明館所蔵犬追物関係史料の調査・撮影（二三年一二月）／大分県佐伯市佐伯歴史資料館所蔵佐伯藩政史料の調査・撮影（二四年一月）／京都府京都市徳禪寺文書の調査（二四年一月）／京都府京都市徳禪寺文書の調査・撮影・原本校正（二四年二月）／山口県山口市山口県文書館所蔵右田毛利家文書・同寄託有福文書の調査・撮影（二四年三月）／大阪府箕面市勝尾寺文書の調査・撮影（二四年三月）／山口県山口市山口県文書館所蔵右田毛利家文書・出羽家文書の調査・撮影（二四年三月）／鹿兒島県鹿兒島市鹿兒島大学附属図書館所蔵肝付家文書の調査（二四年三月）／京都府京都市仁和寺所蔵史料の調査（二四年三月）

【所内行政】研究者集会世話人

【所外活動】

〔文化財行政〕文化庁調査員

木下竜馬 古文書・古記録部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 中世法制史

〔論文〕「治承・寿永の内乱から生まれた鎌倉幕府―その謙抑性の起源―」（有富純也・佐藤雄基編『撰関・院政期研究を読みなおす』思文閣出版、二〇二

三年一月)

〔史料紹介〕「翻刻 青山文庫本貞永式目追加 その二」(鎌倉遺文研究)五二、二〇二三年四月)、「翻刻 青山文庫本貞永式目追加 その三」(鎌倉遺文研究)五二、二〇二三年一〇月)

〔小文〕「昭史会の野郎ども」(歴史学研究会編・加藤陽子責任編集『戦前歴史学』のアーリーナ)東京大学出版会、二〇二三年五月)、「式目五十一條 問状と裁判手続」(日本史史料研究会監修・神野潔・佐藤雄基編『御成敗式目ハンドブック』吉川弘文館、二〇二四年二月)

〔講演〕「お坊さんは会議中——東寺百合文書の議事録を読む——」(京都府立京都学・歴史館令和五年度冬季特別展「東寺百合文書で古文書解読!鎌倉・室町・戦国時代」中世文書、はじめの一步)展関連講演会、二〇二四年二月)

【所内業務】

〔史料編纂〕「大日本古文書 家わけ第十 東寺文書之十九」(二四年三月刊行)の編纂・出版。

〔史料探訪〕「京都市聖護院所蔵史料の調査・撮影」(二三年四月)／茨城県吉見文書の調査・撮影(二三年九月)／京都府立京都学・歴史館所蔵東寺百合文書の原本校正(二三年一〇月)／京都市歴史資料館所蔵岩佐家文書の調査・撮影(二三年一月)／福岡県大野城心のふるさと館所蔵竹田文庫中世文書の調査・撮影(二四年一月)／福岡大学所蔵文書の調査・撮影(二四年一月)／京都市歴史資料館所蔵岩佐家文書の調査・撮影(二四年一月)／東大寺図書館所蔵文書の原本校正(二四年二月)／奈良県五條市大日寺旧蔵文書・三箇家文書の調査・撮影(二四年三月)

【所・学内行政】

〔所内〕図書運営委員会委員、図書選定委員会委員、東アジア史料研究編纂機関国際学術会議準備小委員会委員

尾上陽介 古文書古記録部門 教授

【研究活動】

研究テーマ 平安時代官僚制の研究、古代中世古記録の史科学的的研究
〔論文〕「陽明文庫所蔵栄山寺文書について」二〇二〇～二〇二三年度科学研究

費補助金基盤研究(B)研究成果報告書「文書群復元と歴史的景観復元の融合による栄山寺および栄山寺領の総合的研究」研究代表者下村周太郎、三月(共著)〔講演〕「『民経記』にみる家記の整備と継承」第一一六回歴博フォーラム「中世公家の〈公務〉と生活—広橋家記録の世界—」、於国立歴史民俗博物館、四月〔その他〕東京大学史料編纂所・公益財団法人陽明文庫、京都府立京都学・歴史館編『陽明文庫講座 図録5』、一月(共著)

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(A)「コンテキストに応じた人文科学データパッケージ化に関する研究」(研究代表者山家浩樹)研究分担者／基盤研究(A)「古文書科学」の応用実践」(研究代表者渋谷綾子)研究分担者／基盤研究(B)「文書群復元と歴史的景観復元の融合による栄山寺および栄山寺領の総合的研究」(研究代表者下村周太郎)研究分担者／基盤研究(B)「撰家伝来大規模史料群の目録精緻化による構造の解明と研究資源化」研究代表者／成果公開促進費(データベース)「古記録フルテキストデータベース」(研究代表者遠藤珠紀)研究分担者

〔受託研究〕「異分野共創による史料学DXの確立」AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業ユースケース創出事業、研究代表者
〔共同利用・共同研究拠点による研究〕「中近世古文書の料紙に関する総合的科学研究」(一般共同研究、共同研究者)／「大和国宇智郡所在寺院史料の研究資源化—金石文を中心に—」(同)／「未撮影史料を中心とする陽明文庫の調査・研究」(同)／「蒐集デジタル画像を用いた「魚魯愚抄」の情報資源化及び平安・鎌倉期の除目書の総合的研究」(同)

【所・学内業務】

〔史料編纂〕「大日本古記録 平記」下の原稿作成
〔史料探訪〕陽明文庫所蔵史料の調査(五月・六月、八月～十一月・一月・三月)／杏雨書屋所蔵史料の調査(七月・一〇月)／中津市歴史博物館所蔵史料の調査・撮影(二月)

【所・学内行政】

〔所内〕副所長／図書部長／技術部長／予算委員会委員／研究企画委員会委員／図書運営委員会委員／技術部運営委員会委員／財務企画小委員会委員／史料編纂所協議会委員／研究倫理担当者／外部評価実施小委員会委員ほか

〔学内〕 図書行政商議会委員／デジタル図書館タスクフォース構成員／東京カレッジ運営委員会委員／技術職員組織化検討ワーキンググループメンバー／技術職員研修企画委員会委員／部局女性人事加速五カ年計画意見交換会担当／東京大学百五十年史編纂室員ほか

【学外活動】

〔教育〕 朝日カルチャーセンター横浜教室講師
〔その他〕 公益財団法人陽明文庫評議員／公益財団法人武田科学振興財団杏雨書屋研究員／国立歴史民俗博物館共同研究員／前田育徳会尊経閣文庫編『尊経閣善本影印集成』第十輯（古文書）編集委員

井上 聡 古文書古記録部 准教授

【研究活動】

研究テーマ 中世後期古記録の研究、中世荘園史の研究
〔小文〕「木簡・くずし字読解システムMOJIZO再開のお知らせ」（画像史料解析センター通信一〇〇号、二〇二三年四月）、「資料の公開とDBの構築」（歴史科学協議会編『深化する歴史学』大月書店、二〇二四年一月）
〔科学研究費補助金等による研究〕 基盤研究(A)「荘園絵図調査・解析方法に関する総括的研究と汎用的な歴史地理情報への応用研究」の研究代表者／基盤研究(A)「筆跡・花押情報の高高度利用研究―収集スキームの錬成と関連歴史情報との統合による」(研究代表者 末柄豊)の研究分担者／基盤研究(A)「コンテキストに応じた人文科学データパッケージ化に関する研究」(研究代表者 山家浩樹)の研究分担者／基盤研究(A)「デジタル技術による金石文史料の研究資源化と学融合的歴史叙述への応用研究」(研究代表者 菊地大樹)の研究分担者／基盤研究(A)「中近世「菅浦文書」の公開促進と史科学的・文理融合的研究」(研究代表 青柳周一・滋賀大学教授)の研究分担者／基盤研究(A)「断片的史料情報の集積と歴史知識情報の相互参照体制の確立による新たな史料学構築研究」(研究代表者 西田友広)の研究分担者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕 『日本荘園絵図聚影 釈文編四 中世三・古代補遺』・大日本古記録『後法興院記』の編纂

〔史料採訪・調査〕 福岡市博物館における黒田家文書の調査・撮影（二〇二三年五月）／福岡県柳川市古文書館における立花家文書の調査・撮影（二〇二三年五月）／高知県立歴史民俗資料館および高知県高知城歴史博物館における中世史料の調査・撮影（二〇二三年九月）／香川県観音寺市萩原寺における聖教の調査・撮影（二〇二三年二月）／滋賀大学経済学部史料館における菅浦文書の調査・撮影（二〇二三年一月）／大分県中津市歴史博物館における中世史料の調査・撮影（二〇二四年一月）／善通寺所蔵聖教の調査・撮影（二〇二四年二月）／公益財団法人杏雨書屋における『実躬卿記』の原本校正（二〇二四年三月）／滋賀大学経済学部附属史料館における大嶋神社・奥津嶋神社文書の調査・撮影（二〇二四年三月）／公益財団法人陽明文庫における『後法興院記』の原本校正（二〇二四年三月）

〔所内プロジェクトなど〕 画像史料解析センタープロジェクト「日本荘園絵図聚影プロジェクト」 「金石文・拓本プロジェクト」 「電子くずし字字典開発プロジェクト」 「花押彙纂等の花押画像データベース統合化プロジェクト」 「史料編纂所所蔵台紙付写真・ガラス乾板に関する研究プロジェクト」 「特定共同研究「荘園絵図調査方法論の高度化と調査関連情報の学術資源化に関する研究」／一般共同研究「近江国惣村文書を対象とした横断的原本研究の試み」／同「史料編纂所所蔵謄写本「児玉韞採集文書」の研究資源化にむけた調査・研究―原本所在未確認文書の翻刻―」

【所・学内行政】

〔所内〕 前近代日本史情報国際センター運営委員会、将来構想検討小委員会(委員長)

【学外活動】

〔行政〕 長野県立歴史館資料委員会委員、文部科学省科学技術・学術政策研究所専門調査員
〔自治体史編纂〕 高知県史編さん委員会委員(古代中世部会長)
〔教育〕 公益財団法人いきいき埼玉講座講師

遠藤珠紀

古文書古記録部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 中世朝廷制度史の研究

〔論文・小論〕遠藤珠紀・水野智之編『北朝天皇研究の最前線』山川出版社、二三年一月。「徳川家康の左京大夫任官はいつか」『古文書研究』九五、二三年六月。「徳川家康の誕生年について」『戦国史研究』八六、二三年一月。「二条亭城介事、かちんの事」『陽明文庫講座図録5』東京大学史料編纂所・公益財団法人陽明文庫、二三年一月。「正親町上皇と『院中御湯殿上日記』橋本政宣編『後陽成天皇』宮帯出版、二四年一月。国立歴史民俗博物館編『陰陽師とは何者か』小さ子社、二三年一〇月（項目執筆）。「ステラNet」コラム連載（二二年一二月～二三年一二月）

〔史料紹介〕遠藤珠紀・須田牧子・田中奈保・桃崎有一郎「網光公記 宝徳三年七月～九月記、禁裏晴蹴鞠記、網光公平野祭参向記」『東京大学史料編纂所研究紀要』三四、二四年三月。遠藤珠紀・宮崎肇・金子拓「宣教卿記 天正三年記紙背文書（二）」『早稲田大学図書館紀要』七一、二四年三月。橋本政宣・遠藤珠紀「後陽成天皇宸記翻刻」橋本政宣編『後陽成天皇』宮帯出版、二四年一月。橋本政宣・遠藤珠紀「陽明文庫所蔵後陽成天皇宸翰翻刻」橋本政宣編『後陽成天皇』宮帯出版、二四年一月。「京都府立京都学・歴史館所蔵『若杉家文書』の中世史料」『国立歴史民俗博物館研究報告』二四七、二四年三月。

〔口頭報告〕「家康の経歴の虚実」文京アカデミア『東京大学史料編纂所協力講座 史料から読み解く徳川家康』第一回、二三年一〇月。「家康の経歴の虚実」栄中日文化センター『東京大学史料編纂所協力講座 史料から読み解く徳川家康』第一回、二三年一〇月。

〔科学研究費補助金による研究〕「日本中世古記録・文献史料の史料学的研究による朝廷制度史・政治史の考察」（基盤研究(C)）研究代表者。「筆跡・花押情報の高度利活用研究」（基盤研究(A)末柄豊代表）研究分担者。「撰家伝来大規模史料群の目録精緻化による構造の解明と研究資源化」（基盤研究(B)尾上陽介代表）研究分担者。「古記録フルテキストデータベース」代表者。

〔所内プロジェクト〕画像史料解析センタープロジェクト「電子くずし文字典開発プロジェクト」。一般共同研究「未撮影史料を中心とする陽明文庫の調査・研究」所内研究員。特定共同研究・中世「賀茂別雷神社文書・社家文

書の調査・研究」所内研究員。

【所・学内業務】
〔史料編纂〕『薩戒記』七巻の編纂、出版。

〔史料探訪〕三重県伊勢市神宮文庫所蔵史料の調査（二三年五月）／京都市上賀茂神社所蔵史料の調査・撮影（二三年六月・九月・二四年三月）／京都市陽明文庫所蔵史料の調査（二三年五月・六月・七月・八月・九月・一〇月・二四年三月二回）／京都大学所蔵史料の調査（二三年六月・九月）／香川県観音寺市地藏院所蔵史料の調査・撮影（二三年一二月）

【所・学内行政】
〔所内〕図書副部長。図書運営委員会委員。前近代日本史情報国際センター運営委員会委員。予算委員会委員。社会連携・市民講座企画検討小委員会委員。ハラスメント予防担当者。将来構想検討小委員会委員。

【学外活動】
清泉女子大学非常勤講師。早稲田大学非常勤講師。駒澤大学非常勤講師。國學院大学研究開発推進機構共同研究員。古文書学会編集委員・評議員。国立歴史民俗博物館展示プロジェクト委員（陰陽師とは何者か）。

川本慎自 特殊史料部門／中世史料部門 准教授

【研究活動】
研究テーマ 中世禅宗寺院の研究

〔口頭報告〕「金仙寺の一切経と秩父の文化」（鎌倉禅研究会、於建長寺、二〇二三年一〇月）

〔講演〕「吾妻鏡とその後―禅寺のできるまで」鎌倉幕府滅亡と禅寺のゆくえ―室町時代の鎌倉禅林（横須賀市市民大学講座、於横須賀市生涯学習センター、二〇二三年四月・九月）

〔科学研究費助成事業による研究〕基盤研究(C)「漢籍書き入れの日本中世史料としての活用をめぐる研究」（研究代表者 川本慎自）／基盤研究(A)「筆跡・花押情報の高度利活用研究―収集スキームの錬成と関連歴史情報との統合による」（研究代表者 末柄豊）研究分担者／基盤研究(B)「中世禅院を拠点に流通した建築の形態・空間・技法に関する学際的・対外交渉史的研究」（研究

代表者 東北大学・野村俊二) 研究分担者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第八編之四十五の編纂・出版
〔史料採訪〕金仙寺所蔵典籍の調査・撮影(埼玉県秩父市、二〇二三年四月・六月・八月・十一月)／西山寺文書の調査・撮影(長崎県対馬市、二〇二三年六月)／慶珊寺所蔵大般若経の調査(横浜市金沢区、二〇二三年九月・一〇月)／仁和寺史料(御経蔵)の調査・撮影(京都市、二〇二三年一月・二〇二四年三月)

〔プロジェクト研究〕画像史料解析センタープロジェクト「花押彙纂等の花押画像データベース統合化」

〔拠点共同研究〕特定共同研究「賀茂別雷神社文書および同社社司氏人家文書の調査・研究」(研究代表者 金子拓) 所内共同研究者／一般共同研究「対馬西山寺関係文書の総合的研究」(研究代表者 顧明源) 所内担当者／一般共同研究「智感版大般若経の研究資源化を通じた中世後期東国宗教文化の研究―慶珊寺本を中心に」(研究代表者 梅沢恵) 所内共同研究者

【所・学内行政】

〔所内〕研究企画委員長／特殊史料部門代表／史料編纂所協議会委員／共同利用・共同研究拠点小委員会／財務企画小委員会／東アジア史料研究編纂機関国際学術会議準備小委員会／外部評価実施小委員会／ハラスメント予防担当者

〔学内〕地震火山史料連携研究機構運営委員会

【学外活動】

〔史料調査〕仁和寺聖教調査(文化庁)

岡美穂子 特殊史料部門 准教授

【研究活動】

研究テーマ 日本史と世界史の接続、キリシタン史、海外通交史

〔著書〕岩下哲典・岡美穂子編『つなく世界史』第二巻近世編、清水書院、二〇二三年七月

〔招待講演〕①「一五九九年天草志岐における日本初の聖香油ミサの背景

―関ヶ原の合戦前後の小西行長の動向とのかかわりを中心に―」東樫山キリシタン伝承 華南三彩壺 長崎県調査報告会、二〇二三年五月二一日② The Japan Mission: Converso Jesuits and Japanese Preachers Converted from Buddhism, Religious and Social Identity in Transition: Conflict, Conciliation and Coexistence in Early Modern Asia (Double Panel) - ENIUGH Congress, July 2023③「松倉重政とナパロ神父の対話―ルソン攻略計画の礎として―」島原みらいキャンパス、二〇二三年七月④「歴史学の研究成果を市民に伝えるということ」パブリックは《歴史学者》に何を求めているのか?」高大連携歴史教育研究会・第9回大会公開シンポジウム「歴史学者と語る歴史学の未来―中高生との関わりを中心に―」主催・立教大学文学部人文研究センター、二〇二三年八月⑤「大友家臣団の離散と長崎豊後町の形成」キリシタン街道がつなく豊後府内と長崎 大分市埋蔵文化財センター主催、大分市能楽堂、二〇二三年八月⑥「世界文化遺産の旅 潜伏キリシタンをめぐる長崎と天草の風土と文学」世界文化遺産登録5周年記念特別イベント「潜伏キリシタンをめぐる藝術祭」二〇二三年九月、長崎県文化振興・世界遺産課世界遺産班主催⑦Os Jesuítas no Japão e o comércio com os portugueses do século XVI ao XVIII SEMINÁRIO PERMANENTE: DIÁLOGOS COLONIAIS, March 2024

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(B)「一六世紀西日本港町の構造と相関―文献・考古学資料の国際・横断的分析による―」二〇二三年～二六年度(研究代表者)／基盤研究(A)「在外日本関係史料の調査と貴重史料の研究資源化による維新史料研究国際ハブ拠点の形成」(代表者 保谷徹)二〇二〇～二三年度／挑戦的研究(開拓)「ポルト南蛮屏風の総合的研究による新領域の開拓」(代表者 関口博巨)二〇二一～二三年度／基盤研究(A)「近世ユーラシアの宗教アイデンティティグローバル多元主義と地域大国主義の相克」(代表者 守川知子)二〇二二年度～二五年度

〔研究助成〕「南蛮貿易」で結ぶモノのデジタル・マップ構築と地域史研究支援―社会への還元を取り組みとして―」公益財団法人鹿島学術振興財団研究助成二〇二二～二三年度

【所・学内外業務】

〔史料編纂〕『日本関係海外史料 イエズス会日本書翰集』原譯文編之六刊行準備

〔授業担当〕文化・人間情報学特論(大学院情報学環)／日本史概説(立教大 学法学部・文学部)

〔所内委員〕予算委員会／共同利用・共同研究拠点小委員会／男女共同参画連絡担当者

〔学外委員〕長崎県かくれキリシタン文化財調査保存委員会(二〇一八年)現在)／長崎県世界遺産学術委員会(二〇二二年)現在)／島根県石見銀山遺跡学術戦略会議委員(二〇二三年)現在)

松方冬子 特殊史料部門 教授 歴史家ワークショップ連携教員(二〇二〇年度より)

【研究活動】

研究テーマ 外交の世界史／概念史(「翻訳」としての蘭学史)／オランダ語史料による世界史／近世日本対外関係史／近世日本の武家社会

〔著書〕『네덜란드 풍습서 세계가 왜국 일본에 전해지다』(「オランダ風説書」鎖国日本に語られた「世界」) 韓国語版) 이새봄(李セボン) 訳, ソウル大学日本史の良書翻訳プロジェクト, ピンソンジェ出版社, 二〇二四年

〔史料紹介〕大東敬典・久礼克季・富田暁と共訳「史料紹介」蘭領東インド外交文書集(3)「契約の分類」『東京大学史料編纂所研究紀要』三四号、二四年三月

〔講演録〕松方冬子「国書がむすぶ外交―江戸時代から考える―」『Sin』、静岡商工会議所、二三年八月、オンライン公開

〔学会報告〕「徳川政権とオランダ東インド会社―コメントとして―」、大東敬典、久礼克季、富田暁によるパネル報告「オランダ東インド会社の『契約』にみる東南アジア」、東南アジア学会第一〇五回研究大会、筑波大学、二三年一月一〇日

〔講演〕「国書がむすぶ外交―江戸時代から考える―」徳川みらい学会、グラシッブ「風」、二三年六月一九日／「歴史学のグローバル化と史料集編纂」日本学術会議CISD等分科会公開シンポジウム「歴史学の『国際化』とは

何か」オンライン、二三年七月二三日)／「外国人宛ての家康朱印状をめぐって」(パネル・ディスカッションとも)徳川家康公に学ぶ会「家康公シンポジウム」、岡崎市せきれいホール、二四年二月三日)／「江戸の外交と海外情報―ルイ十四世の使節来航をめぐって―」台東区生涯学習センターミレニアムホール、二四年二月二日

〔研究会発表〕「五百旗頭薫『条約改正史』を読む―「不平等」条約なのか? について」外交史PJ第八回研究会、東京大学史料編纂所、二三年七月三〇日)／「総論」外交史PJ第一〇回研究会、東京大学史料編纂所、二三年二月二六日)／「Adam Clulow-Lauren Bentonを読む(その2)―Protection and Empire―」外交史PJ第一一回研究会、愛知学院大学名城キャンパス、二四年三月二日

〔ラウンドテーブル・パネル報告〕「Comparing early modern diplomatic sites and why it matters.」New Diplomatic History, the 5th conference (Turku, Finland), attending online, 26 May 2023

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(A)「外交の世界史の再構築…一九九〇年代ユーラシアにおける交易と政権による保護・統制」(二一〜二四年度) 研究代表／国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))「循環」を問い直す―物質・文化・環境を繋ぐグローバルヒストリー(一九〜二四年度) 研究代表者・杉浦未樹)の研究分担

〔所内プロジェクト〕共同利用・共同研究拠点特定共同研究「本所所蔵在外日本関係史料の多角的利用のための翻訳研究」

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『日本関係海外史料 オランダ商館長日記』訳文編之一三(下)の編纂・出版

〔教育〕東京大学大学院人文社会系研究科・文学部(オランダ語史料研究)通年 金曜日二限

【所・学内行政】

〔所内委員〕特殊史料部門副代表／史料・図書選定委員会委員
〔学内委員〕東京フォーラム二〇二三年学術委員

【学外活動】

〔学外行政〕日本学術会議連携会員（史学委員会国際歴史学会等分科会委員）／文部科学省科学官

〔学会活動ほか〕日蘭交渉史研究会代表／洋学史学会評議員（二三年五月まで）／日本学士院国際学士院連合関連事業特別委員会委員

〔その他〕右文会理事／博士論文審査（Jurre J.A. Knoest Leiden University）

／the Scientific Board of *Il Giappone. Studie Ricerche* ／member of the advisory board for the AHRC Research Networking Grant for the project “Towards a Global Diplomatic History”（二四年一月から）

大東敬典 特殊史料部門 助教

【研究活動】

研究テーマ 近世対外関係史／オランダ東インド会社史／インド洋史

〔論文〕「蘭領東インド外交文書集」(三)「契約の分類」(久礼克季・富田暁・松方冬子と共編訳、解題を担当)『東京大学史料編纂所研究紀要』三四、二〇二四年三月

〔口頭報告〕「オランダ国立文書館所蔵『契約集』について」二〇二三年度洋学史学会シンポジウム「オランダ東インド会社と『契約』」電気通信大学、二〇二三年五月一日／久礼克季・大東敬典・富田暁「契約の形式と内容」同上／Roundtable “Comparing Early Modern Diplomatic Sites and Why It Matters.” New Diplomatic History Network 5th Conference, Online, 26 May 2023／“Pursuit of Agreement: The Dutch East India Company (VOC) in Iran.” European Society for Central Asian Studies 2023 Regional Conference, Al-Farabi Kazakh National University, Almaty, 23 September 2023／「アムステルダム支部所蔵『契約集』について」二〇二三年度東南アジア学会研究大会、パネル報告（久礼克季・大東敬典・富田暁・松方冬子）

「オランダ東インド会社の『契約』から見る東南アジア」筑波大学、二〇二三年十一月一日／“Pursue of Agreement: The Dutch East India Company.” Islamic Trust Studies Group B01 International Workshop “The Safavids, the Post-Safavids and the East Indian Companies,” 17 December 2023／“Octrooi, Contract and Firman.” Islamic Trust Studies Group B01

Roundtable “Studies on Iranian History in Japan.” Tokyo University of Foreign Studies, Hongo Satellite, 5 March 2024／“The Dutch East India Company and Local Intermediaries in Post-Safavid Iran.” Islamic Trust Studies Group B01 Roundtable “Persianate Studies in Japan.” Tokyo University of Foreign Studies, Hongo Satellite, 17 April 2024

〔科学研究費による研究〕研究活動スタート支援「サファヴィー朝との合意文書によるオランダ東インド会社外交文書編纂の研究」研究代表者／基盤研究(A)（代表：松方冬子）「外交の世界史の再構築——一五〇—一九世紀ユーラシアにおける交易と政権による保護・統制——」研究分担者

〔共同利用・共同拠点による研究〕特定共同研究「本所所蔵在外日本関係史料の多角的利用のための翻訳研究」所内共同研究者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『日本関係海外史料オランダ商館長日記』訳文編之十三（下）の刊行（東京大学出版会、二〇二四年四月）

〔史料探訪〕国際学士院連合関連事業「日本関係海外史料研究」に関する調査、インドネシア・ジャカルタ国立文書館、二〇二三年一月二日～一月一日

【所・学内行政】

〔所内〕東アジア史料研究編纂機関国際学術会議準備小委員会委員

山家浩樹 特殊史料部門 教授

【研究活動】

研究テーマ 室町幕府の研究

〔小論〕「中世後期の尼寺—尼五山とその周辺」(『禅文化』二六九)

〔講演〕「金剛三昧院と頼朝・実朝・政子、尊氏」(鎌倉歴史文化交流館企画展講演会)

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(A)「コンテキストに応じた人文科学データベース化に関する研究」研究代表者

【所・学内業務】

〔史料編纂・研究〕(中世禅籍史料研究プロジェクト) 本所所蔵「春林宗叔和

「尚等法語」の電子テキスト化を進めた。あわせて、本所架蔵写本「景南和尚語録」(四一・一六一・三二)の電子テキスト化を行った。公開は来年度以降を予定している。

〔史料調査〕京都 松尾大社所蔵史料の調査／和歌山 高野山西南院所蔵史料の調査・撮影／三重 三重県下所在中近世史料の調査・撮影

〔教育〕人文社会系研究科で演習「中世宗教史料の研究」を担当

〔共同利用共同研究拠点〕一般共同研究所内担当者「多可町杉原紙研究所所蔵寿岳文章和紙コレクションと近世和紙との比較研究」／同所内共同研究者「智感版大般若経の研究資源化を通じた中世後期東国宗教文化の研究―慶珊寺本を中心に―」ほか一件

【所・学内行政】

〔所内〕前近代日本史情報国際センター運営委員会／デジタル撮影等に関する課題検討グループ／将来構想検討小委員会

【学外活動】

〔教育〕日本女子大学大学院文学研究科非常勤講師

〔委員等〕教科用図書検定調査審議会臨時委員

〔学会活動〕日本歴史学会評議員

岡本 真 特殊史料部門 准教授／中世史料部門・画像史料解析センター(兼任)

【研究活動】

研究テーマ 中世後期・近世初期対外関係史

〔論文〕「中世後期の堺と対外貿易」(『貿易陶磁研究』四三、二〇二三年九月)

／「永楽五年付足利義満宛永楽帝勅諭諸本について」(須田牧子氏と共著、『東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信』一〇三、二〇二四年一月)

〔口頭報告〕「禅宗史料にみる遣明船と堺の人々」(中世堺における歴史文化に関する学際的研究会、二〇二三年一月)／「永正度遣明船の歴史的位置」

(民衆史研究会二〇二三年度シンポジウム、二〇二三年一月)

〔講演〕「鉄砲伝来と遣明船」(鉄砲伝来四八〇周年記念講演会、癸卯八巡の縁

二〇二三年一月)

〔科学研究費補助金による研究〕若手研究「日本中近世外交文書写本および外交文書集の史料学的研究」研究代表者／基盤研究(A)「荘園絵図調査・解析方法に関する総括的研究と汎用的な歴史地理情報への応用研究」(研究代表者井上聡) 研究分担者／基盤研究(A)「大型絵図類のデータ構造化と関連史料の連携による南西諸島「海上の道」の復元的研究」(研究代表者黒嶋敏) 研究分担者

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕一般共同研究「紅葉山文庫旧蔵国書の復元的研究」所内共同研究者(所内担当者)／一般共同研究「史料編纂所所蔵明清中国公文書関係史料の比較研究」所内共同研究者

〔画像史料解析センタープロジェクト〕「外交文書研究プロジェクト」研究代表者

〔受託研究〕福岡市史編集委員会「福岡市域の歴史に関わる資料の調査及び研究」研究担当者／高知県「高知県域に関する古代・中世史料の調査・収集と分析研究」研究担当者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕本所所蔵「天珠和尚語録」の内容検討と電子テキスト化／『大日本史料』第八編之四十五の編纂・出版

〔史料採訪・調査〕西山寺所蔵史料の調査・撮影(二〇二三年六月)／ソウル大学校・韓国国立中央博物館・韓国学中央研究院所蔵史料の調査(二〇二三年八月)／藤井齊成会有鄰館所蔵史料の調査・撮影(二〇二三年九月)／松浦史料博物館所蔵史料の調査・撮影(二〇二三年一月)／大徳寺所蔵史料の調査(二〇二三年一月)／九州国立博物館管理史料の調査・撮影(二〇二四年二月)／仁和寺所蔵史料の調査・撮影(二〇二四年三月)

〔所・学内行政〕

〔所内〕前近代日本史情報国際センター運営委員会委員／画像史料解析センター運営委員会委員／広報委員／技術部運営委員会委員(委員長代行)／将来構想検討小委員会委員／東アジア史料編纂機関国際学術会議準備小委員会委員

委員

〔学外活動〕

〔教育〕慶應義塾大学非常勤講師

〔委員等〕福岡市史編集委員会専門委員／高知県史編さん古代中世部会委員
／堺市博物館共同研究外部委員

堀川康史 画像史料解析センター(古代史料部門兼任) 准教授

【研究活動】

研究テーマ 室町幕府地方支配の研究

〔編著〕『アジア遊学二八九 海外の日本中世史研究——「日本史」・自国史・外国史の交差』(勉誠社、二〇二三年、共編) * 「日本中世史研究をめぐる知の交差」(共著) 「もう一つの十四世紀・南北朝期研究——プリンス頓大で学べの一年から——」 「書評と紹介 Morten Oxenboell, *Akutō and Rural Conflict in Medieval Japan*」を掲載

〔論文〕「室町幕府支配体制の形成と展開」(『歴史学研究』一〇四一号、二〇二三年)／九州探題今川了俊と南九州情勢」(鹿兒島県歴史・美術センター黎明館編『南北朝の動乱と南九州の武士たち』鹿兒島県歴史・美術センター黎明館、二〇二三年)

「The Diary of a Shintō Priest in Medieval Japan.」 David Durand-Guédy and Jürgen Paul (eds.), *Personal Manuscripts: Copying, Drafting, Taking Notes* (De Gruyter, 2023)／「Oaths and Divine Punishments in Warring States Japan from the Princeton University Collection.」 *Medieval Worlds* 19 (2023)／「Soziale Konflikte und die Reorganisation der mittelalterlichen Gesellschaft im Japan des 14. Jahrhunderts.」 Detlev Taranzewski and Christian Werner (eds.), *Funktionale Differenzierung Königlicher Herrschaft Und Die Bildung Neuer Eliten Im Japan Des 12. Bis 14. Jahrhunderts* (Bonn University Press, 2023)

〔研究報告・講演〕「室町幕府支配体制の形成と展開」(歴史学研究会大会・中世史部会、二〇二三年五月)／「南九州の南北朝内乱と都城」(都城島津伝承館企画展「北郷氏誕生〜南北朝・室町時代の都城〜」講演会、二〇二三年八月)／「南九州の南北朝内乱と九州探題今川了俊」(鹿兒島県歴史・美術センター黎明館特別展「南北朝の動乱と南九州の武士たち」記念講演会、二〇

二三年一〇月)／「『前坊家文書』にみる戦国時代の大和」(東京大学史料編纂所・元興寺文化財研究所・大淀町連携シンポジウム「東京大学史料編纂所二〇二三年度一般共同研究「吉野修験関係資料の調査」成果報告会 古文書がひらく中世の吉野」、二〇二四年三月)

〔科学研究費補助金による研究〕若手研究「今川了俊関係史料の分析による室町幕府地方支配の研究」(研究代表者)／基盤研究(A)「断片的史料情報の集積と歴史知識情報の相互参照体制の確立による新たな史料構築研究」(研究分担者)

〔所内研究プロジェクト〕画像史料解析センタープロジェクト「中世花押の編年研究」(代表)／一般共同研究「日本史用語グロッサリーの再構築にむけて」／「吉野修験関係史料の調査」／「智感版大般若経の研究資源化を通じた中世後期東国宗敎文化の研究——慶珊寺本を中心に——」(所内担当者)

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本史料』第五編之三十八の編纂

〔史料採訪〕神奈川県立金沢文庫寄託史料の調査・撮影(横浜市、通年)／榎本坊所蔵史料・前坊家史料の調査・撮影(奈良県吉野町・大淀町、二〇二三年六・七・一月)／「吉見文書」の調査・撮影(茨城県水戸市、九月)／福岡大学および大野城心のふるさと館所蔵史料の調査・撮影(福岡県福岡市・大野城市、二〇二四年一月)／小川八幡神社大般若経の調査・撮影(和歌山県和歌山市、一月)／常楽寺美術館所蔵史料の調査・撮影(長野県上田市、二三月)／栃木県立博物館寄託史料の調査・撮影(栃木県宇都宮市、三月)
*このほか、年間を通じて本所所蔵／寄託史料の調査・撮影を行った。

【所・学内行政】

〔所内〕研究者集会世話人／社会連携・市民講座企画検討小委員会／画像史料解析センター運営委員会

菊地大樹 画像史料解析センター兼古文書古記録部門 教授

【研究活動】

研究テーマ 日本中世史・日本宗教史

〔論文〕「鎌倉仏敎の二つの方向」、智山勸学会編『鎌倉仏敎—密敎の視点か

ら」大蔵出版、二〇二三年四月／「中世阿波の金石文から地下文書論を考
える」、春田直紀編『列島の中世地下文書』（アジア遊学二八二）、勉誠出版、
二〇二三年五月／「歴史翻訳学」とはじめ」、黄霄龍他編『海外の日本中世史
研究』（アジア遊学二八九）、勉誠出版、二〇二三年一〇月
〔講演録〕「日蓮―法華経の行者か、持経者か」『法華仏教研究』三五、二〇
二三年四月／「偽書と伝授―語りえぬものを語る」と、『法華仏教研究』三七、
二〇二四年二月

〔研究報告〕「日蓮遺文『頼基陳状』とその周辺」二〇二三年六月於日蓮宗興
統法縁会総会／「日蓮と鎌倉」二〇二三年九月於法華宗陣門流中央行学講習
会／「Classifying *Itabi* of the Tōhoku Region in Medieval Japan:
Reevaluating *Minshu* Buddhism”, *Thinking Through Minsu Bukkyo: Popu-
lar Buddhism and the Study of Premodern Japan*, Co-organizer, September,
2023, Princeton University／“Agency, Activities and Daily Lives in the
Medieval Buddhist Society”, *Transcending the Tangibility and Intangibili-
ty: Religion and Media in Pre-Modern East and West Eurasia*, November,
2023, Tokyo Metropolitan University

【所内業務】

〔史料編纂〕大日本古記録『実躬卿記』一一の編纂
〔史料探訪〕和歌山県高野町高野山町石調査、二三年五月／京都府京都市青
蓮院門跡吉水蔵調査、二三年六月・二四年二月／奈良県奈良市薬師寺所蔵史
料調査、二三年七月／京都市京都国立博物館寄託「聖一国師印信」調査、二
三年七月／群馬県太田市新田荘歴史資料館寄託長楽寺聖教調査、二四年二月
／奈良県五條市五條文化博物館寄託「三箇文書」「大日寺旧蔵生蓮寺文書」
調査、二四年三月／大阪府大阪府武田科学振興財団杏雨書屋所蔵『実躬卿記』
自筆本調査、二四年三月／宮城県石巻市長塩谷板碑群調査、二四年三月
〔プロジェクト〕「金石文拓本史料の整理と公開」（画像史料解析センター）
〔共同研究〕「大和宇智郡所在寺院史料の調査」（研究代表者・早稲田大学下
村周太郎、所内共同研究者）

〔科学研究費補助金による研究〕基盤研究(A)「デジタル技術による金石文史
料の研究資源化と学融合的歴史叙述への応用研究」（一九日〇〇五三六・研

究代表者）／「中近世移行期の門跡に関する史料学的研究」（二一K〇〇八四
〇・研究分担者）／「宗教テキスト文化遺産アーカイヴス創成学術共同体によ
る相互理解知の共有」（二二H〇〇〇〇五・研究分担者）／「荘園絵図調査・
解析方法に関する総括的研究と汎用的な歴史地理情報への応用研究」（二二
H〇〇〇一六・研究分担者）

〔その他の競争的資金による研究〕公益財団法人鹿島学術振興財団一般研究
助成「山川草木思想の展開に関する歴史資料学的研究」（二二～二三年度）

【所内業務】

所員集会世話人／国際交流委員

【学内業務】

〔委員会〕ヒューマニティーズセンター運営委員

〔教育〕大学院学際情報学府兼任教員

【学外活動】

〔調査〕醍醐寺文化財研究所研究員

〔学会〕日本仏教総合研究会理事

〔非常勤講師〕立教大学（前期・後期）／横浜市立大学（後期）

荒木裕行 画像史料解析センター 准教授／近世史料部門（兼任）／地震火
山史料連携研究機構（兼任）

【研究活動】

研究テーマ 近世幕府政治史の研究

〔論文〕「内憂外患と近世日本の限界」・「天保・弘化期の幕政」（『日本近世史
を見通す 第三巻 体制危機の到来』吉川弘文館、二〇二四年一月）

〔書評〕「書評と紹介 藤田覚著『遠山景晋』（人物叢書三二三）」（『日本歴史』
九〇三）、二〇二三年八月）

〔小文〕「一九世紀の近世日本を取り巻く外圧と軍事技術革新」（『本郷』一七
〇、二〇二四年三月）

〔科学研究費補助金による研究〕「預人の政治史的分析による近世中期幕藩国
家政治構造の研究」（基盤研究(C)）研究代表者／「江戸幕府紅葉山文庫の再構
と発信―宮内庁書陵部収蔵漢籍のデジタル化に基づく古典学―」（基盤研究

(A)、研究代表者・住吉朋彦) 研究分担者/「近世書状史料群の研究と歴史情報資源化」(基盤研究(B)、研究代表者・松澤克行) 研究分担者

【所・学内業務】

〔史料編纂〕『大日本近世史料 広橋兼胤公武御用日記』十五の出版

〔史料探訪〕弘前藩史料の調査(青森県弘前市、二〇二三年五月)、京都大学文学研究科図書館所蔵「明和四年東行之日記」(廣橋兼胤公武御用日記)の

原本調査(京都市、二〇二三年一月二八(二九日)、熊本大学附属図書館所蔵永青文庫(地震火山関係史料)の調査(熊本市、二〇二四年二月一九(二一日))。

【所・学内行政】

〔学内〕埋蔵文化財調査室運営諮問会議委員

〔所内〕情報処理副主幹

【学外活動】

〔学会活動〕『古文書研究』編集委員/『史学雑誌』編集委員

〔学外活動〕『古文書研究』編集委員/『史学雑誌』編集委員

〔学内〕埋蔵文化財調査室運営諮問会議委員

〔所内〕情報処理副主幹

【所・学内行政】

〔学内〕埋蔵文化財調査室運営諮問会議委員

〔所内〕情報処理副主幹

【学外活動】

〔学会活動〕『古文書研究』編集委員/『史学雑誌』編集委員

〔学外活動〕『古文書研究』編集委員/『史学雑誌』編集委員

〔学内〕埋蔵文化財調査室運営諮問会議委員

〔所内〕情報処理副主幹

【所・学内行政】

〔学内〕埋蔵文化財調査室運営諮問会議委員

〔所内〕情報処理副主幹

〔学外活動〕『古文書研究』編集委員/『史学雑誌』編集委員

〔学内〕埋蔵文化財調査室運営諮問会議委員

〔所内〕情報処理副主幹

【学外活動】

〔学会活動〕『古文書研究』編集委員/『史学雑誌』編集委員

〔学外活動〕『古文書研究』編集委員/『史学雑誌』編集委員

〔学内〕埋蔵文化財調査室運営諮問会議委員

〔所内〕情報処理副主幹

【学外活動】

【所・学内業務】
〔編纂〕『大日本史料第六編之五十二』の編纂
〔史料探訪〕島根大学・島根県立図書館・石見銀山世界遺産センター所蔵史料の調査・撮影(二〇二三年七月)

〔教育〕大学院人文社会学系研究科非常勤講師(中世史料講読)

【所・学内行政】

〔所内〕所長/前近代日本史情報国際センター長/前近代日本史情報国際センター運営委員会委員/予算委員会委員/研究企画委員会委員/史料編纂所協議会委員/財務企画小委員会委員長/IR・広報室長

〔学内〕経営協議会委員/教育研究評議会委員/総長室総括委員会委員/東京大学予算委員会委員/東京大学基金運営委員会委員/伊藤国際学術研究センター運営委員会委員/地震火山史料連携研究機構運営委員会委員/情報学環・学際情報学府運営懇談会委員

【学外活動】

〔学外委員〕国際日本文化研究センター運営会議委員/「世界の記憶」国内案件に関する審査委員会委員/国際学士院連合関連事業(日本関係未刊行史料調査事業)特別委員会委員(日本学士院)/鹿児島県史料編纂顧問(鹿児島県)/財団法人東洋文庫評議員/江戸東京博物館運営委員会委員(東京都)

〔大学教育〕学習院大学文学部非常勤講師(日本史特殊演習)

〔講演〕「日本中世史の現在地」(東大出版会「知のマップング」、二〇二三年一月)/「島津家文書」からみる島津家と近衛家(黎明館講演会、二〇二四年二月)

〔書評〕『文藝春秋』読書委員

【研究活動】

山田太造 附属前近代日本史情報国際センター 准教授

研究テーマ 史料からの情報抽出とテキストマイニングに関する研究

〔著書〕山田太造「史料をデータとして考える」、勉誠出版、共振するデジタル人文学とデジタルアーカイブ、第五章、2023

〔論文〕Taizo YAMADA, Satoshi INOUE, How Can the Historical

研究テーマ 史料からの情報抽出とテキストマイニングに関する研究

〔著書〕山田太造「史料をデータとして考える」、勉誠出版、共振するデジタル人文学とデジタルアーカイブ、第五章、2023

〔論文〕Taizo YAMADA, Satoshi INOUE, How Can the Historical

研究テーマ 史料からの情報抽出とテキストマイニングに関する研究

〔著書〕山田太造「史料をデータとして考える」、勉誠出版、共振するデジタル人文学とデジタルアーカイブ、第五章、2023

〔論文〕Taizo YAMADA, Satoshi INOUE, How Can the Historical

研究テーマ 史料からの情報抽出とテキストマイニングに関する研究

〔著書〕山田太造「史料をデータとして考える」、勉誠出版、共振するデジタル人文学とデジタルアーカイブ、第五章、2023

〔論文〕Taizo YAMADA, Satoshi INOUE, How Can the Historical

研究テーマ 史料からの情報抽出とテキストマイニングに関する研究

〔著書〕山田太造「史料をデータとして考える」、勉誠出版、共振するデジタル人文学とデジタルアーカイブ、第五章、2023

〔論文〕Taizo YAMADA, Satoshi INOUE, How Can the Historical

研究テーマ 史料からの情報抽出とテキストマイニングに関する研究

〔著書〕山田太造「史料をデータとして考える」、勉誠出版、共振するデジタル人文学とデジタルアーカイブ、第五章、2023

〔論文〕Taizo YAMADA, Satoshi INOUE, How Can the Historical

研究テーマ 史料からの情報抽出とテキストマイニングに関する研究

Materials be Characterized? - An Example of Analyzing Japanese Medieval Historical Materials. Proc of PNC2023, 2023 (査読有) / Satoru Nakamura, Guanwei Liu, Hajime Miyazaki, Satoshi Inoue, Wataru Ohyama, Taizo Yamada: Implementation of data-driven historical informatics research on Kao (Stylized Signature). Proc of DH2023, pp. 144-145, 2023. doi:10.5281/zenodo.8107647 (査読有) / Ayako Shibutani, Satoru Nakamura, Kanako Hirasawa, Honami Inukai, Toshiyuki Yamada, Airu Adachi, Ikki Ohmukai, Taizo Yamada: Developing a New Research Data Infrastructure for Japanese Historical Materials. Proc of DH2023, pp. 507-508, 2023. doi:10.5281/zenodo.8108054 (査読有) / 劉冠偉, 中村寛, 山田太造「オープンソース漢字字形管理システムh-glyphの開発と応用」, じんもんこん2023論文集, pp. 285-290, 2023 (査読有) / 中村寛, 黒嶋敏, 畑山周平, 山田太造「IIIFを用いた前近代絵図の比較支援ツールの開発」, じんもんこん2023論文集, pp. 45-50, 2023 (査読有) / 劉冠偉, 中村寛, 山田太造「Unicode 翻字テキストデータにおける安定な字形データ交換の試み」, 情報処理学会論文誌, Vol. 65, No. 2, pp. 331-339, 2024. doi:10.20729/00232297 (査読有) [口頭発表] 山田太造, 中村寛, 劉冠偉「日本史料データワークフローの自動化に向けた取組」, 国際シンポジウム: デジタル・ヒューマニティーズと研究基盤, 2023 / 山田太造「生成AIの教育・研究における活用と課題」, 学習院大学文学部FD研究会, 2023 / 山田太造「異分野共創による史料学DXの確立」, 研究データエコシステム構築事業シンポジウム2023, 2023 / Taizo YAMADA: How Can the Historical Materials be Characterized? - An Example of Analyzing Japanese Medieval Historical Materials. PNC2023 / Taizo YAMADA: Collection and Management of Japanese Historical Material Data. ECAI Workshop in conjunction with PNC2023, 2023 / 山田太造「東京大学史料編纂所における取組」, 人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業フォーラム「データ共有・利活用促進のための研究基盤」, 2024 / 山田太造「前近代日本史料データの永続的提供とその課題」, 人文学データシンポジウム「人文学研究資源としてのデジタルデータ」, 2024

【科学研究費補助金による研究】基盤研究(A)「荘園絵図調査・解析方法に関する総括的研究と汎用的な歴史地理情報への応用研究」(研究代表者: 井上聡) 研究分担者 / 基盤研究(A)「断片的史料情報の集積と歴史知識情報の相互参照体制の確立による新たな史料学構築研究」(研究代表者: 西田友広) 研究分担者 / 基盤研究(A)「多面的な時空間範囲の同定と記述法の開発」(緯度・経度 / 年月日からの脱却) (研究代表者: 関野樹) 研究分担者 / 基盤研究(A)「エビデンスに基づく計量的地域研究の展開」(研究代表者: 原正一郎) 研究分担者 / 基盤研究(A)「コンテキストに応じた人文科学データパッケージ化に関する研究」(研究代表者: 山家浩樹) 研究分担者

【所・学内業務】

【史料探訪】宮崎県都城島津邸所蔵史料の調査・撮影 / 東北大学所蔵白河文書の調査・撮影 / 山口県文書館毛利家文庫所収の地震関係史料の調査
 【委託事業】日本学術振興会 人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業 / 中核機関における人文学分野のJDCat・メタデータ連携等統括責任者

【所・学内行政】地震火山史料連携研究機構

【所内】研究開発主査 / 前近代日本史情報国際センター運営委員会 / 東アジア史料編纂機関国際学術会議準備小委員会 / 電子計算機緊急対応チーム / 情報支援室 / デジタル撮影等に関する課題検討グループ / 維新史料研究国際ハブ拠点形成プロジェクト / 歴史地震研究プロジェクト / リブレース作業グループ / 所外史料複製物利用条件確認方法検討ワーキンググループ / デジタル撮影等に関する課題検討グループ / 『原本史料情報解析』の方法による九州関係文書の保全と研究プロジェクト

【教育】大学院人文社会科学系研究科「デジタル・ヒューマニティーズ入門」(オムニバス)

【学外活動】

【教育】法政大学大学院人文科学研究科非常勤講師
 【委員会】学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点課題審査委員会委員 / 情報処理学会人文学とコンピュータ研究会運営委員 / 情報処理学会論文誌ジャーナル特集号「人文学とコンピュータ」編集委員 / Japanese

Association for Digital Humanities Administrator / co-editor of journal "Digital Scholarship in the Humanities"

〔共同研究員〕人間文化研究機構基幹研究プロジェクト連携研究員及び国立歴史民俗博物館共同研究員

中村 覚 前近代日本史情報国際センター 助教

【研究活動】

研究テーマ 多様な情報の関連付けによる史料活用と研究環境の高度化に関する研究

〔論文〕中村覚・高嶋朋子「静的サイトジェネレータを用いたデジタルアーカイブシステムの構築：『Digital Cultural Heritage』への適用」東京大学大学院情報学環社会情報研究資料センターニュース No. 34' pp. 1-6' 2024年（招待有）／LIU Guanwei・中村覚・山田太造「Unicode 翻字テキストデータにおける安定な字形データ交換の試み」情報処理学会論文誌ジャーナル（Web）' Vol. 65' No. 2' pp. 331-339' 2024年（査読有）／大井 将生・中村 覚・大向 一輝・渡邊 英徳「S×UKLAM教材アーカイブのLOD化：RDFとSPARQLによるデジタルアーカイブを活用した教材と多様な教育情報の接続・構造化」じんもんこん2023論文集 Vol. 2023' pp. 73-80' 2023年（査読有）／劉冠偉・中村覚・山田太造「オープンソース漢文字形管理システムhiglyphの開発と応用」じんもんこん2023論文集 Vol. 2023' pp. 285-290' 2023年（査読有）／中村覚・黒嶋敏・畑山周平・山田太造「IEEEを用いた前近代絵図の比較支援ツールの開発」じんもんこん2023論文集 Vol. 2023' pp. 45-50' 2023年（査読有）／飯田賢穂・中村覚・淵田仁「ジャンニジャック・ルノーのジュネーブ手稿を対象としたデジタル批判版の試作」じんもんこん2023論文集 Vol. 2023' No. 2023' pp. 91-98' 2023年（査読有）／中村覚「日本語史料を対象としたテキストエンコーディングの事例紹介」西洋史研究 No. 新輯第52' pp. 89-94' 2023年（招待有）／小風高樹・中村覚・David Roffe・鶴島博和「ドゥームズデイ・ブックのテキスト生成過程分析のためのビューワ開発」じんもんこん2023論文集 pp. 191-198' 2023年（査読有）／中村覚・金甫榮・南山泰之「Archivenaticaを活用したデジタルデー

タの長期保存を支援する簡易操作マブリーケーションの開発」デジタルアーカイブ学会誌 Vol. 7' No. S2' pp. s107-s110' 2023年／Jun OGAWA・Kiyonori NAGASAKI・Satoru NAKAMURA・Ikki OHMUKAI・Asanobu KITAMOTO「Toward a TEI/RDF Encoding for Semantic Annotations: Concept and Implementation as LOD Editor」JOINT MEC TEI Conference 2023' 2023年（査読有）／Jun OGAWA・Ikki OHMUKAI・Satoru NAKAMURA・Asanobu KITAMOTO「Collecting Pieces of Historical Knowledge from Documents: Introduction of HIMIKO (Historical Micro Knowledge and Ontology)」Digital Humanities 2023' 2023年（査読有）／Satoru Nakamura・Guanwei Liu・Hajime Miyazaki・Satoshi Inoue・Wataru Ohyama・Taizo Yamada「Implementation of data-driven historical informatics research on Kao (Stylized Signature)」Digital Humanities 2023' 2023年（査読有）／Ayako Shibutani・Satoru Nakamura・Kanako Hirasawa・Honami Inukai・Toshiyuki Yamada・Airu Adachi・Ikki Ohmukai・Taizo Yamada「Developing a New Research Data Infrastructure for Japanese Historical Materials」Digital Humanities 2023' 2023年（査読有）

〔講演・口頭発表等〕中村覚「戦中写真とデジタルビューブリーティス」ライイ世代と読む戦中写真とデータを紡ぐ平和に関する 2024年／中村覚「Domesday Bookの可視化システムの開発」延喜式のデジタル技術による汎用化」プロジェクト研究会 2024年（招待有）／中村覚「人文学における Linked Dataの普及・教育」Linked Pasts Japan Kick-off 2024年（招待有）／Natsuko Saji・Satoru Nakamura「Cataloging images of historical materials taken by individual researchers: A case study of Ottoman documents of Bosnia」The 3rd Islamic Trust Studies International Conference "Exploring the Tacit Knowledge of Trust Building and Connectivity amidst Precipitants" 2024年／Satoru Nakamura「Introduction to Practice Examples of Digital Curation and Digital History with a Focus on Japanese Materials」21th CODH Seminar Digital History: Concepts and Practices' 2024年（招待有）／中村覚「持続性と利活用性を考慮したデジタルアーカイ

「構築手法の提案」令和5年度第2回自然科学系アーカイブズ研究会、2024年（招待有）／Satoru Nakamura・Kim Boyoung・Yasuyuki Minamiyama
 「Development of a User-friendly Application to Support Long-term Digital Preservation Using Archivenatica」18th International Digital Curation Conference、2024年／黄夢鶴・中村覚「日本のデジタル文学地図」の概要」教育ツールとしての日本デジタル文学地図、2024年／刘冠伟・中村覚・山田太造「通过WEB API实现史料古籍字形的交叉检索：以史料古籍字形探索的构建开发为例」第十三届汉字典汉字教育国际研讨会、2024年／中村覚「東京大学史料編纂所における史料編纂・歴史研究支援に関する取り組み」歴博共同研究・日本歴史文化知人文情報ユニット研究会「DHのデータ構築の先にあるもの、研究の促進と広がり」、2023年（招待有）／山田太造・中村覚・劉冠偉「日本史料データワークフローの自動化に向けた取組」DHSympo2023：国際シンポジウム「デジタル・ヒューマニティーズと研究基盤 欧州と日本の最新トレンド」、2023年（招待有）／中村覚「オープンソースのOCR処理プログラム「NDLOCR」の応用事例紹介」デジタルアーカイブ学会「第18回DAシヨートトーク／産業のシースを見つければよう！」、2023年（招待有）／中村覚「日本語史料を対象としたテキストエンコーディングの事例紹介」史料のハイパーテキスト化（ハイパーリンク）研究会、2023年（招待有）／中村覚「カルチュラル・ジャパン」に関する取り組み紹介」第141回デジタルアーカイブサロン、2023年（招待有）
 「科学研究費補助金による研究」基盤研究(A)「大型絵図類のデータ構造化と関連史料の連携による南西諸島「海上の道」の復元的研究」（研究代表者黒嶋敏）／基盤研究(A)「荘園絵図調査・解析方法に関する総合的研究と汎用的な歴史地理情報への応用研究」（研究代表者井上聡）／基盤研究(B)「人文学の研究方法論に基づく日本の歴史的テキストのためのデータ構造化手法の開発」（研究代表者永崎研宣）／基盤研究(A)「漢文大蔵経の文献学的研究基盤の構築：『大正新脩大蔵経』底本・校本DBの活用と拡充」（研究代表者倉谷佳光）／基盤研究(A)「断片的史料情報の集積と歴史知識情報の相互参照体制の確立による新たな史料学構築研究」（研究代表者西田友広）／基盤研究(B)「デジタル文学地図の構築と日本古典文学研究・古典教育への展開」（研

究代表者飯倉洋一）／基盤研究(B)「日本近世史料学の再構築―基幹史料集の多角的利用環境形成と社会連携を通じて」（研究代表者杉本史子）／基盤研究(B)「戦前・戦中の報道写真を用いたストーリーテリング・デジタルアーカイブのデザイン」（研究代表者渡邊英徳）／Archivenaticaを用いた人文データキュレーションプロセスの自動化に関する試み」（研究代表者中村覚）／基盤研究(A)「コンテキストに応じた人文科学データパッケージ化に関する研究」（研究代表者山家浩樹）研究分担者／基盤研究(C)「古代エジプト神官文字写本の地域差を含めた言語記述とIIF検索プラットフォームの構築」（研究代表者永井正勝）／若手研究「持続性と利活用性を考慮したデジタルアーカイブシステム構築手法の開発」（研究代表者中村覚）／基盤研究(S)「木簡等の研究資源オープンデータ化を通じた参加誘発型研究スキーム確立による知の展開」（研究代表者馬場基）／情報学、コンテンツ「多様なデジタル文化資源の教育活用を促進するための「人」と「データ」をつなぐネットワークの構築」（研究代表者大井将生）／基盤研究(C)「近世中国の刑罰制度に関する総合的研究―軍制との関係を中心として」（研究代表者徳永洋介）研究分担者／若手研究「IIFとTEIを用いたオンライン翻刻支援システムの開発」（研究代表者中村覚）／基盤研究(C)「古代エジプト聖刻文字碑文の言語記述とIIF画像を利用した情報共有システムの開発」（研究代表者永井正勝）研究分担者

【所・学内行政】

〔学内〕情報基盤センター／学術資産アーカイブ化推進室
 〔所内〕前近代日本史情報国際センター運営委員会／電子計算機緊急対応チーム／情報支援室

【学外活動】

〔委員会〕デジタルアーカイブ学会 人材養成・活用検討委員会／情報処理学会 人文科学とコンピュータ研究会 運営委員／Conference of Japanese Association for Digital Humanities プログラム委員／Text Encoding Initiative 東アジア／日本語分科会 運営委員／デジタルアーカイブ学会 学術誌編集委員

〔経歴〕国立歴史民俗学博物館／東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化

研究所／国立国会図書館

渋谷綾子 前近代日本史情報国際センター 特任助教

【研究活動】

研究テーマ 料紙の自然科学的研究／先史時代人の植物食文化と健康状態の復元

〔論文〕 Ayako Shibutani, Satoru Nakamura, Kanako Hirasawa, Honami Inukai, Toshiyuki Yamada, Airu Adachi, Ikki Ohmukai, Taizo Yamada. Developing a New Research Data Infrastructure for Japanese Historical Materials. *Digital Humanities (DH) 2023*. (二〇二三年七月、査読有)／石川隆二・高島晶彦・渋谷綾子「MIG-seqを利用した日本在来カシノキの遺伝的多様性の解析」『日本遺伝学会大会プログラム・予稿集95th (CD-ROM)』(二〇二三年九月、査読有)／渋谷綾子「東アジアにおける残存デンプン粒分析の進展」『東アジア考古科学の新展開』(中村慎一(監修)・米田稜・佐々木由香・覚張隆史編)・九七一―〇六頁(雄山閣、二〇二四年三月)／渋谷綾子「テーマ五九 植物の(考古) 生化学からみた食環境」『考古学研究会70周年記念誌 考古学の輪郭』二四九―二五〇頁(二〇二四年三月、招待)／渋谷綾子「静嘉堂所蔵古写経群の調査と研究」『静嘉堂所蔵古写経群の調査と研究』(静嘉堂所蔵古写経群の研究資源化プロジェクト編)・一八二―一八九頁(東京大学史料編纂所・公益財団法人静嘉堂、二〇二四年三月)／渋谷綾子・天野真志・高島晶彦・貫井裕恵・山家浩樹「研究座談会『料紙研究を語る』記録から」『東京大学史料編纂所研究紀要』三四号、一二七―一四二頁(二〇二四年三月)

〔小論・その他〕渋谷綾子・天野真志「古文書の科学：料紙を複眼的に分析する」(文学通信)『ALL REVIEWS』『ALL REVIEWS』(二〇二三年四月、招待)

〔学会・研究会報告〕Ayako Shibutani, Satoru Nakamura, Kanako Hirasawa, Honami Inukai, Toshiyuki Yamada, Airu Adachi, Ikki Ohmukai, Taizo Yamada. Developing a New Research Data Infrastructure for Japanese Historical Materials. *Digital Humanities (DH) 2023*. (二〇二三年七月―二日(於: Messe Graz Office, Graz, Austria) ポスター、査読有)／渋谷綾子「今

日うちでなに食べる? デンプンから探る遺跡と古文書」地域の文化・歴史再発見講座、二〇二三年八月一日(於: 泉大津市立図書館、招待講演)／石田正紀・高島晶彦・山口悟史・渋谷綾子・平澤加奈子・與那嶺亮・武智英明「赤外分光法と統計解析・機械学習による和紙の識別に関する諸検討」日本分析化学会第七十二年会、二〇二三年九月一日(於: 熊本城ホール、査読有)／Ayako Shibutani, Satoru Nakamura, Takane Mizukami, Kanako Hirasawa. Science of Japanese Historical Materials: Towards Open Science and Internationalisation. The 33rd EAJRS Conference. (二〇二三年九月(於: KU Leuven, Leuven, Belgium) 査読有)／鍾國芳・渋谷綾子「カシノキ・樹皮布・紙―植物のDNAに記録された東アジア人類の移動と文化史」『*Aiwan Plus 2023*』二〇二三年九月二三日(於: 誠品生活日本橋、招待講演)／Hideaki Takechi, Masaki Ishida, Ryo Yonamine, Takeyoshi Goto, Akiniko Takashima, Satoshi Yamaguchi, Ayako Shibutani, Kanako Hirasawa, Katsuya Hirota, Yosuke Onoe. ATR-IR Spectra Classification of Washi Japanese Papers using Machine Learning. 16th Asian Conference on Analytical Sciences 2023 (ASIANALYSIS XVI 2023). (二〇二三年一〇月九日―一〇月二二日(於: Kuala Lumpur, Convention Centre, Kuala Lumpur, Malaysia) ポスター、査読有)／渋谷綾子・高島晶彦・山口悟史・丹羽尉博・石田正紀・平澤加奈子・広田克也・尾上陽介「物理化学分析で拓く紙文化財の科学研究」日本文化財科学会第四〇回記念大会、二〇二三年一〇月二二日(於: 奈良文化財研究所・奈良県立なら歴史芸術文化村、ポスター、査読有)／武智英明・石田正紀・後藤剛喜・與那嶺亮・高島晶彦・山口悟史・渋谷綾子・平澤加奈子・広田克也・尾上陽介「赤外分光法と機械学習による和紙の識別の検討」第三九回近赤外フォーラム、二〇二三年一二月二六日(於: 東京大学、ポスター、査読有)／渋谷綾子「考古生化学と史料学をむすぶ」近江貝塚第三三三回例会、二〇二四年二月二四日(オンライン)／尾上陽介・金子拓・高島晶彦・渋谷綾子・平澤加奈子「日本の歴史を伝え、つなぐ―東京大学史料編纂所のこれま(と)これから―」二〇二三年度・第二期東京大学ニューヨーク・オフィス(UTokyoNY) イベント、二〇二四年二月一五日・一六日(於: 東京大学ニューヨーク・オフィス、ハイブリッド)

〔科学研究費補助金による研究〕 基盤研究(A) 〔古文書科学〕の応用実践(1) (研究代表者渋谷綾子) / 基盤研究(A) コンテキストに応じた人文科学データパッケージ化に関する研究(1) (研究代表者山家浩樹) 研究分担者 / 基盤研究(B) 〔原本史料情報解析〕の方法による中世西国武家文書の研究と展開(1) (研究代表者本郷恵子) 研究分担者 / 基盤研究(A) 〔初期の縄文土器の機能に関する総合的研究〕 (研究代表者米田稜) 研究分担者 / 学術変革領域研究(A) 〔考古遺物の材料分析と産地推定〕 (研究代表者神谷嘉美) 〔中国文明起源解明の新・考古学イニシアティブ〕の計画研究(A) (2) 研究分担者 / 基盤研究(B) 〔受傷人骨の骨科学分析による縄文終末期の埋葬原理と社会変容の解明〕 (研究代表者青野友哉) 研究分担者

〔共同利用・共同研究拠点による研究〕 一般共同研究 〔中近世古文書の料紙に関する総合的科学研究〕 (研究代表者貫井裕恵) 共同研究者 / 一般共同研究 〔近江国惣村文書を対象とした横断の原本研究の試み〕 (研究代表者宇佐見隆之) 共同研究者 / 特定共同研究 〔奈良平安時代の大規模写経群形成に関する史料学研究 ―小川八幡神社大般若経を核として―〕 (研究代表者稲田奈津子) 共同研究者

〔その他〕 大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構令和五年度加速器科学国際育成事業 〔史料を科学する〕 (研究代表者高島晶彦) 研究分担者 / 国立情報学研究所 AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業 〔異分野共創による史料学DXの確立〕 (提案代表者尾上陽介) 提案参加者

【所・学内業務】

〔委託事業〕 日本学術振興会人文科学データインフラストラクチャ強化事業中核機関における「拠点機関との連携及び関係機関との調整」人文学部門担当者

【所・学内行政】

〔所内〕 前近代日本史情報国際センター運営委員会 / 〔原本史料情報解析〕の方法による南九州関係文書の保全と研究 プロジェクト研究分担者

〔学内〕 総合研究博物館研究事業協力者

【学外活動】

〔委員会〕 Frontiers in Environmental Archaeology (Review Editor) / 日本植生史学会第一四期広報・渉外幹事 / 京都府京都文化博物館令和六年度特別展「松尾大社展 みやこの西の守護神」企画委員

〔その他〕 文部科学省科学技術・学術政策研究所科学技術予測・政策基盤調査研究センター(専門調査員)

村岡ゆかり 史料保存技術室(模写担当) 特任専門員

【研究・研修活動】

〔研修〕 文化財保存修復学会第四五回大会 (二〇二三年六月)、画法書研究会(二〇二三年六月)

〔所内プロジェクト〕 画像解析センタープロジェクト「長篠合戦図屏風プロジェクト」

【所・学内業務】

〔模写業務〕 「東京国立博物館所蔵長篠合戦図屏風」色指定(補填)・礮水引き・貼りこみ・下描き / 二〇二四年度要覧和文表紙作成(図案制作)

【所・学内行政】

〔所内〕 技術部運営委員会委員

谷 昭佳 史料保存技術室(写真担当) 技術専門員

【研究・研修活動】

〔論文〕 オーストリア「ハンガリー帝国東アジア遠征隊古写真資料集の編纂」『学術会議叢書』一 第七回東亜細亜史料研究編纂機関国際学術会議 東アジア歴史資料編纂の伝統と現代化」大韓民国国史編纂委員会、三九九―四二七頁、二〇二三年五月 / 「失われた技法「写真油絵」の復元的研究―紙盤二製スル法の再現―」『東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信』第一〇一―一〇九頁、二〇二三年七月 / 「中嶋待乳関係古写真調査の概要―海の見える杜美術館所蔵コレクション―」『東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信』第一〇二―一〇九頁、二〇二三年七月

〔講演・口頭報告等〕 「失われた技法「写真油絵」の復元的研究―紙盤二製スル法の再現―」(日本写真芸術学会主催「令和五年度日本写真芸術学会年次

大会」、東京工芸大学芸術情報館及びオンラインのハイブリット開催、二〇二三年七月八日)／「文化財写真の実状(歴史史料)」(独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所主催令和五年度文化財担当者専門研修「文化財写真課程」、奈良文化財研究所本庁舎、二〇二三年一月二日)

〔科学研究費補助金による研究〕 基盤研究(B)「幕末明治期古写真の調査とその解析・復元・保全を総合的に捉える写真史料学の構築(23H00634)」の研究代表者／基盤研究(C)「高精度デジタル画像解析による幕末明治初期ガラス原板写真の史料学研究(P19K00934)」の研究代表者

〔画像史料解析センタープロジェクト〕古写真研究プロジェクト(代表者箱石大)の研究分担者／本所所蔵台紙付写真・ガラス乾板に関する研究プロジェクト(代表者井上聡)の研究分担者

〔国内研修〕「特殊イメージスキャナ開発環境見学」(アイメジャー株式会社、二〇二三年三月二六日)

【所・学内業務】

〔史料撮影・デジタル画像処理他〕岩倉具視関係史料／木村芥舟関係古写真資料／鳥津家文書歴代亀鑑・宝鑑修理途中撮影／醍醐寺文書／徳禅寺史料／大嶋奥津嶋神社文書／その他

〔海外出張・史料探訪〕国立公文書館、ナショナルギャラリー、オペアート、フリアー美術館、ウィンターサー博物館、メトロポリタン美術館(アメリカ合衆国、ワシントンDC・デラウェア州・ニューヨーク州、二〇二四年二月)〔国内出張・史料探訪〕愛知県美術館、愛知県立図書館、福井県立歴史博物館(愛知県、福井県、二〇二三年四月)／伊賀市上野図書館(三重県、二〇二三年五月)／鳥取県立公文書館、鳥取県立博物館、鳥取市歴史博物館(鳥取県、二〇二三年六月)／那覇港周辺史跡の景観調査(沖縄県、二〇二三年六月)／海の見える杜美術館(広島県、二〇二三年七月)／醍醐寺(京都府、二〇二三年八月)／一関市博物館、もりおか歴史文化館(岩手県、二〇二三年八月)／天叟寺、柳川古文書館(福岡県、二〇二三年一〇月)／尚古集成館(鹿児島県、二〇二三年一〇月)／尚古集成館(鹿児島県、二〇二三年一〇月)／尚古集成館(鹿児島県、二〇二三年一月)／岩国学校教育資料館、岩国徴古館、海の見える杜美術館(山口県、広島県、二

〇二三年一二月)／京都国立博物館文化財保存修理所(京都府、二〇二三年一二月)／徳禅寺(京都府、二〇二四年二月)／滋賀大学経済学部附属史料館(滋賀県、二〇二四年三月)／伊賀城周辺の景観調査(三重県、二〇二四年三月)／鍋島報効会徴古館(佐賀県、二〇二四年三月)／伊賀市上野図書館(二〇二四年三月)／アイメジャー株式会社、真田宝物館、象山記念館(長野県、二〇二四年三月)／その他

【所・学内行政】

〔所内〕技術部運営委員会・幹事／環境安全委員会

【学外活動】

〔教育〕日本大学院芸術学研究所映像芸術専攻非常勤講師(映像作品特殊研究Ⅱ講座担当)／日本大学芸術学部写真学科非常勤講師(写真表現研究Ⅳ「文化財写真」講座担当)

〔委員〕沖縄県立芸術大学「令和五年度鎌倉芳太郎撮影ガラス乾板(重要文化財)修理検討委員会」委員／長崎大学附属図書館「登録有形文化財ポードイン収集紙焼付写真修理検討会」委員／公益社団法人日本写真家協会「日本写真保存センター諮問・調査委員会」委員

高島晶彦 史料保存技術室(修復担当) 技術専門職員

【研究活動】

〔論文等〕(共著)橋本雄・高島晶彦「雪舟筆、国宝「破墨山水図」成立事情考」追賛部分に関する検討から」『東京国立博物館研究誌 MUSEUM』七〇四号、七一七頁(二〇二三年六月、査読有)／石川隆二・高島晶彦・渋谷綾子「MIG-seqを利用した日本在来カジノキの遺伝的多様性の解析」『日本遺伝学会大会プログラム・予稿集5th(CD-ROM)』(二〇二三年九月、査読有)／渋谷綾子・天野真志・高島晶彦・貫井裕恵・山家浩樹「研究座談会「料紙研究を語る」記録から」『東京大学史料編纂所研究紀要』三四号、一二七―一四二頁(二〇二四年三月)

〔学会・研究会報告〕石田正紀・高島晶彦・山口悟史・渋谷綾子・平澤加奈子・與那嶺亮・武智英明「赤外分光法と統計解析・機械学習による和紙の識別に関する諸検討」日本分析化学会第七二年会、二〇二三年九月一五日(於：熊

本城ホール、査読有) / Hideaki Takechi, Masaki Ishida, Ryo Yonamine, Takeyoshi Goto, Akihiko Takashima, Satoshi Yamaguchi, Ayako Shibutani, Kanako Hirasawa, Katsuya Hirota, Yosuke Onoe, ATR-IR Spectra Classification of 'Washi' Japanese Papers using Machine Learning. 16th Asian Conference on Analytical Sciences 2023 (ASIANALYSIS XVI 2023). 二〇二三年一〇月九日—一〇月十二日 (於: Kuala Lumpur, Convention Centre, Kuala Lumpur, Malaysia) / ポスター、査読有) / 渋谷綾子・高島晶彦・山口悟史・丹羽尉博・石田正紀・平澤加奈子・広田克也・尾上陽介「物理化学分析で拓く紙文化財の科学研究」日本文化財科学会第四〇回記念大会、二〇二三年一〇月二二日 (於: 奈良文化財研究所・奈良県立なら歴史芸術文化村、ポスター、査読有) / 武智英明・石田正紀・後藤剛喜・與那嶺亮・高島晶彦・山口悟史・渋谷綾子・平澤加奈子・広田克也・尾上陽介「赤外分光法と機械学習による和紙の識別の検討」第三九回近赤外フォーラム、二〇二三年一月一六日 (於: 東京大学、ポスター、査読有)

〔講演〕東京大学ニューヨーク・オフィス (UTokyoNY) イベント「日本の歴史を伝え、つなぐ—東京大学史料編纂所のこれまでとこれから—」(現地・オンライン) 二〇二四年二月

〔研究〕令和五年度加速器科学国際育成事業加速器科学育成事業「史料を科学する」(高エネルギー加速器研究機構: KEK) 研究代表/科学研究費補助金 基盤研究(A)「古文書科学」の応用実践—研究代表渋谷綾子 研究分担者/史料編纂所共同利用・共同研究拠点—松尾大社所蔵史料の研究資源化(研究代表者野村朋弘)所内共同研究者/史料編纂所共同利用・共同研究拠点—一般共同研究「多可町杉原紙研究所所蔵寿岳文章和紙コレクション」と近世和紙との比較研究」(研究代表者安平勝利) 所内共同研究者/史料編纂所共同利用・共同研究拠点—一般共同研究「中近世古文書の料紙に関する総合的科学研究」(研究代表者貫井裕恵) 共同研究者/史料編纂所共同利用・共同研究拠点—一般共同研究「近江国惣村文書を対象とした横断の原本研究の試み」(研究代表者宇佐見隆之) 共同研究者/史料編纂所共同利用・共同研究拠点特定共同研究「奈良平安時代の大規模写経群形成に関する史料学研究—小川八幡神社大般若経を核として—」(研究代表者稲田奈津子) 共

同研究者/「原本史料情報解析」の方法による南九州関係文書の保全と研究」所内プロジェクト研究メンバー

〔所内業務〕本所所蔵文書等の修復(詳細は史料保存技術室の「修理」を参照) / 本所所蔵文書出陳に係る点検および立ち合い / 本所見学者への対応

〔研究調査〕島津家文書(老中奉書) 料紙調査(本所・共同研究) 二〇二三年六月/高エネルギー加速器研究機構: KEK加速器科学国際育成事業に係る調査(和紙の) FT-IR調査二〇二三年七月・二〇二四年一月/兵庫県

多可町杉原紙研究所所蔵寿岳文章和紙コレクション調査二〇二三年八月/米沢市上杉博物館所蔵上杉家文書料紙調査二〇二三年八月・二〇二四年二月/前田育徳会所蔵百工比呂(紙類) 調査二〇二三年九月/京都松尾大社所蔵

文書調査二〇二三年九月/島津家文書(歴代亀鑑) 修理調査(東京国立博物館内工房) 二〇二三年九月・十一月・二月/和歌山県小川八幡神社所蔵大般若経調査二〇二三年一〇月・二〇二四年一・二月/京都府立京都学歴彩館

所蔵東寺百合文書料紙調査(金沢文庫依頼) 二〇二三年一〇月・十一月・十二月/京都陽明文庫所蔵『後朱雀天皇御記文・旧記目録』料紙調査二〇二三年一月/滋賀大学経済学部史料館所蔵菅浦文書調査二〇二三年一月/沖

縄県における芭蕉紙・アオガンビ紙に関する調査二〇二三年二月/米国メトロポリタン美術館における東洋美術品の修理・保存に関する調査二〇二四年二月/島津家文書(口宣案・宣旨) 料紙調査(本所・共同研究) 二〇二四年三月

〔その他〕永青文庫所蔵『蜂須賀家文書(信長文書写)』の修理・助言/東京大学文書館所蔵資料修理に係る助言・指導/東京大学文学部国文学研究室所蔵資料修理に係る助言・指導/蔣州咨文・明国劄付修理会議メンバー/島津

家文書(歴代亀鑑・宝鑑) 修理会議メンバー/国立歴史民俗博物館所蔵「兼仲卿暦記」(正安二年) 修復調査および修復検討会メンバー/東京大学オーブンキャンパス(オンライン) への協力/読売新聞取材協力(関西・二月二一日夕刊掲載)/高知県史編さん室取材協力(「とさぶし」四四号「第六回

史料が語るもの語」掲載)

【全学行政】

総合技術本部企画調整室構成員

【所内行政】

技術部運営委員会委員

【学外活動】

〔教育〕 上智大学文学部史学科非常勤講師／京都芸術大学通信教育部芸術学部歴史遺産コース非常勤講師／東洋美術学校非常勤講師

山口悟史 史料保存技術室（修復担当） 技術専門職員

【研究・研修活動】

〔書籍〕 神奈川大学日本常民文化研究所監修「古文書修復講座」（勉誠社、二〇二四年三月）担当部分「第二章 修理」『コラム 古文書修理の接着剤』『コラム 古文書を食べる虫』『コラム 水損古文書を救う〜乾燥・洗浄処置と開披方法〜』

〔口頭発表等〕「史料の取り扱いと補修法」（二〇二三年度東洋文化研究所漢籍整理長期研修、二〇二三年九月）／石田正紀・高島晶彦・山口悟史他「赤外分光法と統計解析・機械学習による和紙の識別に関する諸検討」（日本分析化学会第七二年会、二〇二三年九月）／古文書取扱い研修会「古文書補修の基礎基本（理論編）」・「古文書補修の基礎基本（実践編）」（群馬県市町村公文書等保存活用連絡協議会主催、二〇二三年九月・一二月）／Hideaki Takeuchi・Masaki Ishida・Ryo Yonamine 他「ATR-IR Spectra Classification of Washi Japanese Papers Using Machine Learning」(ASIANALYSIS XVI 2023、二〇二三年一〇月) 共同発表者／渋谷綾子・高島晶彦・山口悟史他「物理化学分析で拓く紙文化財の科学的研究」（日本文化財科学会第四〇回記念大会、二〇二三年一〇月）／武智英明・石田正紀・後藤剛喜他「赤外分光法と機械学習による和紙の識別の検討」（日本分光学会第三九回近赤外フォーラム、二〇二三年一月）共同発表者／宇波西神社文書を題材にした東京大学史料編纂所の固着文書の開披処置について「水損固着文書開披に関する研究会、二〇二三年一月」

〔研究〕「原本史料情報解析」の方法による南九州関係文書の保全と研究」（研究代表者 本郷恵子）プロジェクトメンバー／令和五年度加速器科学総合育成事業「史料を科学する」（研究代表者 高島晶彦）研究分担者／AI等の活

用を推進する研究データエコシステム構築事業「異分野共創による史料学DXの確立」（提案代表者 尾上陽介）提案参加者／科学研究費補助金挑戦的研究（開拓）「ポルト南蛮屏風の総合的研究による新領域の開拓」（研究代表者 関口博巨）研究協力者／人間文化研究機構ネットワーク型基幹研究プロジェクト「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」（事業代表者 三上喜考）国立歴史民俗博物館拠点メンバー

〔研修〕東アジア文化遺産保存国際シンポジウム（北海道大学、二〇二三年八月）／文化財修復処置に関するワークショップ／ナノセルロースの利用について実技フォローアップ（東京文化財研究所、二〇二三年一〇月）／第二七回国宝修理装こう師連盟定期研修会（京都府立大学歴史館、二〇二三年一月）／令和五年度文化財（美術工芸品）保存修理講習会（オンライン、二〇二三年一月）

【所・学内業務】

〔史料修補修復〕 加納家史料／永青文庫「信長公御状写」／湯原文書／松尾大社文書／後七日記／朝鮮国西王子并三臣誓約書（模写）／細川幽斎画像（模写）／織田信長画像（模写）／蜷川新右衛門親元自筆書状／拓本／往復／正倉院御物／徳禅寺下張り文書／松平昭休往復書簡留／百首詠草断簡／外務省引継書類／田染文書／入来院文書／吉村文書（影写本）

〔紙質調査〕 兵庫県多可町杉原紙研究所所蔵寿岳文章和紙コレクション／鳥津家文書「歴代亀鑑」／小川八幡神社大般若経／上杉家文書

〔出張〕 高エネルギー加速器研究機構（二〇二三年七月・二〇二四年一月）／和歌山県立博物館（二〇二三年一〇月・二〇二四年一月）／琉球大学（二〇二三年一二月）／米沢市上杉博物館（二〇二四年二月）

〔修理監督〕 鳥津家文書「歴代亀鑑」「宝鑑」／明国笥付／蔣州咨文

【所・学内行政】

〔所内〕 技術部運営委員会

【学外活動】

〔教育等〕 鶴見大学文学部非常勤講師／神奈川大学日本常民文化研究所古文書修復講座講師／神奈川大学日本常民文化研究所客員研究員

〔その他〕 川崎市市民ミュージアム水損所蔵品応急処置活動／平成三〇年西日本豪雨水損所蔵品応急処置活動（広島県立文書館）／文化庁修理作品審議員

高山さやか 史料保存技術室（写真担当） 技術専門職員

【研究・研修活動】

〔研修〕東京工芸大学カラボギャラリー「六櫻社式天然色印画法」展示見学（二〇二三年一〇月・東京工芸大学）／令和五年度画像保存セミナー（二〇二三年二月・東京都写真美術館）／特殊イメージスキヤナ開発環境見学（二〇二四年三月・アイメジャー株式会社）

〔所内プロジェクト〕「荘園絵図聚影」釈文編・中世出版プロジェクト（代表 藤原重雄） 研究分担者／本所所蔵台紙付写真・ガラス乾板に関する研究プロジェクト（代表 井上聡） 研究分担者／「古写真研究プロジェクト」（代表 箱石大） 研究分担者／「『原本史料情報解析』の方法による南九州関係文書の保全と研究」（代表 本郷恵子） 研究分担者

【所・学内業務】

〔国内出張・史料探訪〕横浜開港資料館（二〇二三年五月・神奈川県）／京都国立博物館（二〇二三年八月・京都府）／尚古集成館（二〇二三年一〇月・一月・鹿児島県）／賀茂別雷神社（二〇二四年三月・京都府）

〔史料撮影・現像・プリント・スキヤニング・デジタル画像処理・その他〕島津家文書歴代亀鑑・宝鑑修理中撮影／薩摩国日置北郷下地中分絵図／薩摩国伊作庄日置北郷下地中分絵図／内藤信成年貢免状／那須氏文書／石見国美濃郡高津川匹見川筋絵図／松平昭休往復書翰留／近藤重藏関係資料／「倭寇」防備ノ遺蹟／陰陽吉凶抄／犬追物行列図／流鏑馬図／徳禅寺襖下貼り文書／西大寺与秋篠寺堺相論絵図／大和国添下郡京北班田図／阿部正邦年寄衆日記抄／陰陽吉凶抄／東鑑／本所所蔵ガラス乾板整理／辻家史料整理／その他デジタル探訪データ現像処理

【所・学内行政】

〔所内〕技術部運営委員会／図書運営委員会／デジタル撮影等に関する課題検討グループ

桑田恵里 史料保存技術室（写真担当） 一般技術職員

【研究・研修活動】

〔画像史料解析センタープロジェクト〕古写真研究プロジェクト（代表者箱

石大） 研究分担者／本所所蔵台紙付写真・ガラス乾板に関する研究プロジェクト（代表者 井上聡） 研究分担者／「『原本史料情報解析』の方法による南九州関係文書の保全と研究」（代表 本郷恵子） 研究分担者

〔国内研修〕

〔研修〕東京工芸大学カラボギャラリー「六櫻社式天然色印画法」展示見学（二〇二三年一〇月・東京工芸大学）／令和五年度画像保存セミナー（二〇二三年二月・東京都写真美術館）／特殊イメージスキヤナ開発環境見学（二〇二四年三月・アイメジャー株式会社）

【所・学内業務】

〔史料撮影・デジタル画像処理他〕島津家文書歴代亀鑑・宝鑑修理中撮影／薩摩国日置北郷下地中分絵図／薩摩国伊作庄日置北郷下地中分絵図／犬追物行列図／流鏑馬図／徳禅寺襖下貼文書／西大寺与秋篠寺堺相論絵図／岩倉具視関係史料／醍醐寺文書／大嶋奥津嶋神社文書／今堀日吉神社文書／本所所蔵ガラス乾板整理／辻家史料整理／デジタル探訪データ現像処理／その他

〔国内出張・史料探訪〕横浜開港資料館（二〇二三年五月・神奈川県）／伊賀市上野図書館（三重県・二〇二三年五月）／那覇港周辺史跡の景観調査（沖縄県、二〇二三年六月）／海の見える杜美術館（広島県、二〇二三年七月）／京都国立博物館（二〇二三年八月・京都府）／醍醐寺（京都府、二〇二三年八月）／一関市博物館、もりおか歴史文化館（岩手県、二〇二三年八月）／天叟寺、柳川古文書館（福岡県、二〇二三年一〇月）／尚古集成館（鹿児島県、二〇二三年一〇月）／塩谷定好写真記念館、鳥取市歴史博物館（鳥取県、二〇二三年一〇月）／尚古集成館（鹿児島県、二〇二三年一〇月）／海の見える杜美術館（広島県、二〇二三年一二月）／徳禅寺（京都府、二〇二四年二月）

／鍋島報効会徴古館（佐賀県、二〇二四年三月）／滋賀大学経済学部附属史料館（滋賀県、二〇二四年三月）／伊賀市上野図書館（三重県、二〇二四年三月）／真田宝物館、象山記念館（長野県、二〇二四年三月）

【所・学内行政】

〔所内〕技術部運営委員会